

令和元年度  
交通安全指導者養成講座運営支援業務  
事業報告書



内閣府

令和2年2月

内閣府政策統括官(共生社会政策担当)



# 目次

---

1. 講座概要	1
2. 日程表	3
3. 講義概要	5
開講式・主催者挨拶	5
近藤 共子(内閣府 政策統括官(共生社会政策担当)付交通安全対策担当 参事官)	
講義「交通安全指導における効果的な話し方」	7
藤原 徳子(株式会社ビジネスファーム 代表取締役)	
講義「紙芝居の演じ方」	18
おの いづみ(イラストレーター)	
事例発表「幼児・児童の交通安全について」	22
関 福二(千葉県柏市交通安全推進隊 あさひ隊 隊長)	
講義「交通安全教育デモンストレーション」	24
警視庁交通部交通総務課交通安全教育指導係	
講義「子供の交通安全学習について」	27
山口 直範(大阪国際大学 人間科学部 人間健康科学科 教授)	
講義「いきいき運転講座」	32
池田 佳代(株式会社コンセプト 代表取締役)	
グループ討議結果発表	38
講義「自転車の交通安全教育について」	47
石井 征之(一般財団法人 日本交通安全教育普及協会 主幹)	
閉講式・主催者挨拶	54
茅根 弘幸(内閣府 政策統括官(共生社会政策担当)付交通安全対策担当 参事官補佐)	
4. アンケート集計結果	55

## 1. 講座概要

---

### 目的

本事業は、地域住民の交通安全意識の向上、交通安全思想の普及・浸透及び交通事故防止のための街頭活動、交通安全教育等を行っている交通指導員(シルバーリーダーを含む。)及びこれら交通指導員を指導育成する立場にある者(以下「交通指導員等」という。)に対し、交通安全教育に関する基礎的理論及びその実践的手法に関する知識・技能を習得させ、指導的役割を担う者を養成することにより、その効果的な活動を促進し、安全で快適な交通社会を形成することを目的として実施する。

### 期間

令和元年 12月9日(月)～11日(水)

### 会場

アルカディア市ヶ谷(東京都千代田区九段北4 - 2 - 25)

#### 〈アクセス〉

- ・JR 中央線(各駅停車) 市ヶ谷駅
- ・地下鉄有楽町線・南北線 市ヶ谷駅(1またはA1 出口)
- ・地下鉄新宿線 市ヶ谷駅(A1 またはA4 出口)

### 受講者

#### 【交通指導員】

都道府県又は市区町村の長等から委嘱を受け、交通安全を目的として街頭活動、交通安全教育、広報啓発活動に従事している交通ボランティア(高齢者交通ボランティアであるシルバーリーダーを含む。)

#### 【交通指導員を指導育成する立場にある者】

交通指導員の指導者及び都道府県又は市区町村の交通安全対策主管課の職員

### 受講者数

116名

## 配布資料

No	資料名	使用日
1	領収書類封入用 / No記載封筒	全日
2	講座のしおり(机上配付 / 最終版)【本資料】	全日
3	配付資料(ホチキス止め冊子)	全日
4	交通安全紙芝居「あ～した てんきに な～あれ！」 (縦 26cm×横 38cm)	1日目
5	交通安全絵本「さくらが さいた」	1日目
6	「交通安全教育デモンストレーション」参考資料 かんたんオモシロ信号機・作成用資料(ホチキス止め資料)	2日目
7	「いきいき運転講座」教材(ホチキス止め資料)	2日目
8	アンケート(兼 講師への質問用紙)	

## 2. 日程表

【1日目 / 12月9日(月)】

時間	プログラム	会場
12:30～13:00	受付	霧島(6F)
13:00～13:10	オリエンテーション	霧島(6F)
13:10～13:20	開講式・主催者挨拶 内閣府 政策統括官(共生社会政策担当)付参事官 (交通安全対策担当) 近藤 共子	霧島(6F)
13:20～15:20	講義「交通安全指導における効果的な話し方」 株式会社ビジネスファーム 代表取締役 藤原 徳子	霧島(6F)
15:20～15:30	休憩	
15:30～16:35	講義「紙芝居の演じ方」 イラストレーター おの いづみ	霧島(6F)
16:35～16:45	休憩	
16:45～17:00	事例発表	霧島(6F)
17:00	解散	

\* 敬称略

【2日目 / 12月10日(火)】

時間	プログラム	会場
09:00～09:20	受付	霧島(6F)
09:20～11:20	グループ討議 各会場は、6頁ノグループ討議会場レイアウトで ご確認下さい。	霧島(6F) 鳳凰(4F) 飛鳥(4F)
11:20～11:40	討議結果とりまとめ	
11:40～12:40	休憩	
12:40～13:40	講義「交通安全教育デモンストレーション」 警視庁 交通総務課 交通安全教育指導係	霧島(6F)
13:40～13:50	休憩	
13:50～15:00	講義「子供の交通安全教育について」 大阪国際大学 山口 直範	霧島(6F)
15:00～15:10	休憩	
15:10～17:00	講義「いきいき運転講座」	霧島(6F)

	株式会社コンセプト 代表取締役 池田 佳代	
17:00	解散	

\* 敬称略

**【3日目 / 12月11日(水)】**

時間	プログラム	会場
09:00 ~ 09:20	受付	霧島(6F)
09:20 ~ 10:20	グループ討議結果発表・質疑応答	霧島(6F)
10:20 ~ 10:30	休憩	
10:30 ~ 11:40	講義「自転車の事故防止のために」 一般財団法人 日本交通安全教育普及協会 主幹 石井 征之	霧島(6F)
11:40 ~ 11:45	休憩	
11:45 ~ 11:55	閉講式・主催者挨拶 内閣府 政策統括官(共生社会政策担当)付参事官補佐 (交通安全対策担当) 茅根 弘幸	霧島(6F)
	修了証配布・アンケート回収(机上)・解散	

\* 敬称略

### 3. 講義概要

---

開講式・主催者挨拶 / 12月9日(月)13:10～13:20

近藤 共子  
(内閣府 政策統括官(共生社会政策担当)付  
交通安全対策担当 参事官)



ただいま紹介いただきました内閣府 交通安全対策担当参事官の近藤でございます。開講に当たり、一言御挨拶申し上げます。

受講者の皆様には、お忙しい中、遠方から御参加いただきまして誠にありがとうございます。また、平素から交通安全対策に深い御理解と多大なるお力添えを賜り、厚く御礼を申し上げます。

特に、「春・秋の全国交通安全運動」及び「交通事故死ゼロを目指す日」では、地域に密着した街頭活動に熱心に取り組んでいただいておりますことに心より感謝申し上げます。さて、昨年中の交通事故情勢は、皆様を始め、多くの交通安全指導に携わる方々の御協力と御尽力の下、各種の施策を推進した結果、24時間以内の死者数は3,532人で、現行の交通事故統計となった昭和23年以降で最も少なくなりました。また、交通事故発生件数及び負傷者数はともに14年連続で減少しました。

これらは、皆様の日々の献身的な街頭活動や地道な啓発活動の賜物であり、その御尽力に対しまして、重ねて御礼申し上げます。

しかしながら、今なお多くの尊い命が交通事故で失われていることに変わりはありません。特に、本年は4月に豊島区で発生した暴走した乗用車による親子の交通死亡事故、5月に大津市で発生した園児の交通死亡事故など、子供が犠牲となる事故や高齢運転者による事故が相次いで発生しております。

交通事故防止は、依然として国を挙げて取り組むべき重要な課題であり、このような悲惨な交通事故をなくすために、政府では、本年6月、総理出席のもとに行われた「昨今の事故情勢を踏まえた交通安全対策に関する関係閣僚会議」において、「未就学児等及び高齢運転者の交通安全緊急対策」を決定しました。

対策の柱は大きく3つに分かれており、一つ目は、未就学児を中心に子供が日常的に集団で移動する経路の安全確保。二つ目は、高齢者の安全運転を支える対策の更なる推進。三つ目は、高齢者の移動を伴う日常生活を支える施策の充実であります。高齢化の進展への適切な対処とともに、子育てを応援する社会の実現が強く要請される中、交通安全対策についても、この喫緊の課題に対し、政府一丸となって迅速に取り組んでいるところです。

本日から3日間にわたり行われる本講座は、交通事故防止のため街頭活動や交通安全教育に従事されている方、また、これらの分野において指導員になられる方を対象に、内閣府の事業として毎年度実施しているものです。

今年度も、子供、高齢者の交通安全教育に関する講義やテーマ別のグループ討議などにより、基礎的理論や実践的手法に関する知識・技能を身に付けていただけるようにプログラムを組んでおりま



す。交通安全教育は、生涯教育であるとも言われており、幼児から高齢者にいたるまでの各年齢層に応じた、様々な形での交通安全教育が必要であることから、この講座には大きな意義があるものと考えております。どうか問題意識を持って臨んでいただきたいと思います。また、この機会を通じて、同じ志をお持ちの方々同士の横のネットワークを広げていただけると幸いです。

最後になりますが、皆様方がこの3日間の講座で所期の成果を挙げられ、有意義なものとなりますことを祈念いたしまして、開講の挨拶といたします。

## 講義「交通安全指導における効果的な話し方」 / 12月9日(月)13:20～15:20

藤原 徳子(株式会社ビジネスファーム 代表取締役)



配布資料:

「令和元年度交通安全指導者養成講座」配布資料

### オリエンテーション【交通安全指導者の使命】

#### 1. 交通安全指導者は「規範を守る道徳的な人間としてのお手本」

自分自身が道徳的な人間であるか = 「人格者」やるべきことをやるか、そうでないか、か×か。

##### (1) 交通安全指導の「目的」

・尊い命を守り、安心、安全な街づくりのため。

##### (2) 交通安全指導の「目標」

・交通ルール、マナーを守る態度を育成する。

・安全に道路を通行するための知識、技術、技能を、実践学習を踏まえて身につける。

#### 2. 交通安全指導を通じて、地域住民の倫理観を高める

「倫理観の高い人は交通ルールを守る」

#### 3. 交通安全指導を行う上での心構え

##### (1) 聴いてもらうという姿勢が大切である。

聴いている もんだ べきだ はずだ は、威圧・権威的な感じを与えます。

##### (2) 自分を磨くこと 教えることで身につく

##### (3) 話し方の3原則(明朗・正確・肯定表現)を使う。未来志向で前向きな話をする。

##### (4) 目的と目標を達成するために、熱意を持ち、自信ある態度で指導にあたる。

「自信」は、「知識・経験・技能」の度合いによって生まれるものです。

##### (5) 指導者の「タスク(課業)」を理解する。

・タスクとは課題、職務、やるべきこと、相手にやってもらうこと。タスクを明確にすることで、目標をたて、教育技法と指導技術の選択・決定ができる。

#### 4. 求められる能力

##### (1) 分析力と観察力

内容を瞬時に理解し、判断する能力。

地域住民(幼児・学童・生徒・保護者・年配者等)の話をよく聴き、言わんとすることを早く理解する。(聴くべき事柄を具体的によく聴いてあげる。話を聴く力)

話の要点を正確に掴み、まとめること。

- (2) 身体的・・・心身共に健康、視力、聴力、音声明瞭。
- (3) 人柄・・・人間的魅力(指導を受ける方々への影響力)

時間と約束を守ること。

誠実・明朗・公平であること。

嘘やごまかしがないこと。

## 1【効果的に話すための準備】

### 1. 心温まる笑顔で「相手の心に残る指導」を！

- ・上段は笑顔、中段は真顔、下段は暗く、無愛想な印象を与えてしまう。
- ・自分の気持ちや感情は、すぐ口角や目にあらわれますので、注意したいものです。表情の良し悪しを決めているのが、「口元」であるのがわかりますので、鏡を見て、表情をつくる練習をしましょう。また、笑顔と「笑い」が違うということも忘れてはなりません。
- ・傾聴する上で、「相手の目を見る」というのは、眼球を見るという意味ではない。目頭と目頭の間を見るようにする。また、眉から下胸から上の間に視線をずらすと、威圧感を与えず、違和感がない。それ以外は相手を、存在認知行為として認知していないゾーンになるので、注意が必要。

### 2. 話す時の心得として

#### (1) 幼児・学童に対して

分別のある賢い子どもを育てるために

- ・幼児語を多用しない。一人の人として、丁寧言葉で対応する。ただし、音調表現として柔らかくすることは有効。

- ・大人と同じ言葉、正しく「です・ます」を使う。

質問話法の活用

- ・「... は、あるかな？(ありますか?)」と、身近な例を挙げて問いかける。

#### (2) 学生・高齢者に対して

「命令形」より「依頼形」

- ・「～して下さい」ではなく、「～していただけますか」という言い方にする。

相手の話を復唱する時は、相手の使った言葉で繰り返す

- ・相手の言葉を正す必要はない。

- ・発言者の発言のフォーマットに合わせる。

相互関係の一線を越えない

- ・「親しみを勘違いしない」ためにも、丁寧な言葉で対話する。

- ・皆平等に「です・ます」言葉を心掛ける。

- ・高齢者に対して、幼児語を使う方がいるが、年齢に関わらず一貫した言葉遣いを。

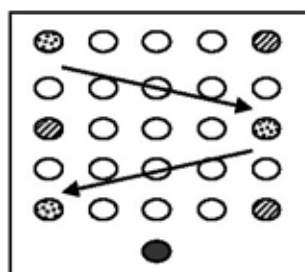
話し方に『情』を込める

- ・「人は、ものの言い方に影響される」。

・一つの内容でも、口調、音調表現によって印象が大きく異なる。

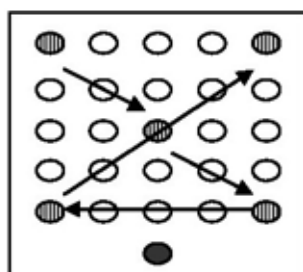
### (3) 基本動作としての視点法

#### (1) 3点法



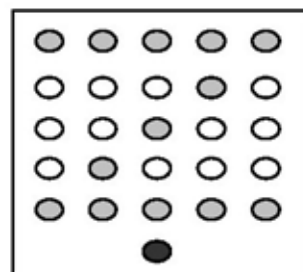
受講者数  
少人数から30名位

#### (2) 5点法



受講者数  
30名～80名位

#### (3) Z視点法



受講者数  
少人数から多数

目線(視線)は相手にとっての認知行動。重要なスキルとなる。

## 3. 自分の印象を管理する

好意の統計(アルバート・メラビアン)

Total liking (100%)	= Facial liking (55%)	+ Vocal liking (38%)	+ Verbal liking (7%)
	・笑顔や表情 ・身嗜み ・所作 等	・声の調子 ・話し方 等	・言葉 ・話の内容 等

- ・言語と非言語が不一致の時に、人は何を信じるかの割合と同義である。
- ・第一印象... 刷り込み(imprinting)。
- ・第一印象が大切。所作(機敏さ)、身だしなみを気にするようにする。
- ・どんなに正しい発言をしても、言動が不一致であれば、説得力は生まれない。

## 4. 話している時の基本動作(留意点)

- ・挨拶の仕方... 語先後礼(先に言葉を発し、後から動作をつける)
- ・視線、手の位置、立ち方、立ち位置など。

## 5. 美しい所作

- ・うなずき... 相手の話をきちんと聞いているという合図になる。

通常のうなずき、上腿で行う、激しいうなずき、の3パターンを場面によって用いる。

- ・濁音と鼻濁音の使い分けをきちんとすると、きれいな話し方ができる。
- ・登壇等する前、口の体操として、「あいうえお」を意識して3回声を出すことによって、口角を緩める。

## 6. 話す力“メッセージの伝え方”

- (1) 最も言いたいこと(主題)を先に述べる…結論から話すことで、話の内容を理解しやすい。
- (2) 共通言語を用いる…相手の興味を持つ事柄や分かりやすい言葉などを調査し、使用するとよい。難しい話をしない。特に短縮された言葉、略語は、かみ砕いて伝える。
- (3) 筋道を立てて話す(ナンバリング方式)…「今日は二つのことを学んで頂きます」等
- (4) 短文で話す…相手の記憶に残るように短文で、はっきりと話す癖をつける。

## 7. 良い点を褒め(認め)ながら指導する

学生よりも下の年齢であれば、特に効果的である。ただ、反発するような子供に対しては、自己肯定感の低さにより逆効果となることがあるため、褒め言葉は最低限に止めること。

また、変化に気付く(ストローク)ことが大切であり、前に参加していた生徒や、雰囲気や記憶にとどめておく。褒めることとは別に「髪を切ったのか」「あの校庭の木はなくなったのか」等。

## 2【交通安全指導等の事前準備】

### 1. 話材(お話をする時の母体となるもの)を探す

交通安全に関して、自分が何か言いたいと思う時、必ず何かの「事実」や「実例」が存在している。つまり、自分の心に深く残っている事実・実例・例話を探し出してみる。

- (1) 話題を見つける…話題集め。

自分の体験が一番… 話材の宝庫!

他人の話でもOK… 対話者、講演、テレビ、ラジオ等

書かれた物でもOK… 歴史書その他書物、雑誌、新聞、インターネット等

- (2) 話題を集めるための「情報アンテナ」を立てる…話すための材料を日頃から意識して探すよう心掛ける。

情報収集しようとする意欲を持つ。

心を留めて物事をみる。(鋭い観察力)

問題意識を持ち、様々なことに興味と関心を示す。(知的好奇心)

日頃から、倫理観や道徳観の高い私見を持つ。

### 2. 主題(自分が最も言いたいこと)を明確にする

・主題を述べる時は、聞き手の記憶に残るよう、狭く絞って短く言い切る(20~30文字以内で)

- (1) 主題は、狭く絞って一番始めに述べる。(15秒)
- (2) 話題(事実・実例・例話)をありのままに述べる。(2分20秒)
- (3) 主題をもう一度繰り返して結ぶ(15秒)…記憶に残る

### 3. 説得力が増す“5つの要素”

- (1) 自分がしたこと、見たことをそのまま話す。(情景が浮かぶ、イメージが湧く)
- (2) 言ったこと、聞いたことをそのまま話す。(会話、動き、イキイキ)

- (3) その時思ったこと、感じたことを話す。(話し手の心の動きが伝わる)
- (4) そのことについての現在の感想や意見を話す。(人柄が現れる)
- (5) 世間一般の言い習わしを入れる。(金言、名句、諺など)

#### 4. 交通安全指導等を受ける人は、どのような話を聞きたがるのか

- ・自分に関係のある、有利になる話。
- ・知識欲を満たせるもの、新しいものや珍しいもの(旬の情報)、好奇心をそそる話。

#### 5. 講義の組み立て方

- (1) 「なぜ、大切なのか」…例) 自転車走行ルールが何故必要なのか？
- (2) 「なぜ、そうなるのか」…例) 事故が起こる可能性があるから。
- (3) 「では、どうするのか」…例) 自転車走行ルールを学ぶ。

#### 6. わかりやすく話すためのコツ = 例話を用いる

- ・話の重要な裏づけとして説得力がある。
- ・例話は実話を話すのが一番効果的だが、指導内容から逸脱しなければ、また趣旨が伝われば創作しても問題ない。

#### 7. コメントをする時の留意点

##### (1) コメントの仕方

- ・サンドイッチ法が有効。
- ・良い点を褒める。ナンバリング方式が有効。
- ・直す点、問題点を注意する。
- ・励まし、エールを送る。

##### (2) 留意点

- ・褒め過ぎはダメ。
- ・コメントは短めに。
- ・全員同じくらいの時間で。平等に。
- ・温かい気持ちを忘れない。
- ・良い点と改善点のバランスを考えること。(良い点の方が多いように)

#### 8. 思考整理術をマスターする \* ロジックツリー(論理の木)を用いたスピーチトレーニング。

- ・論理的な話し方。
- ・思考を整理するためのフレームワーク法。
- ・以下の図の番号順に伝えていく。

- ・結論は最初と最後に。
- ・話が長い人は、私見が多くなりがち、属性に対して、簡潔に語れば、スマートに聞こえる。

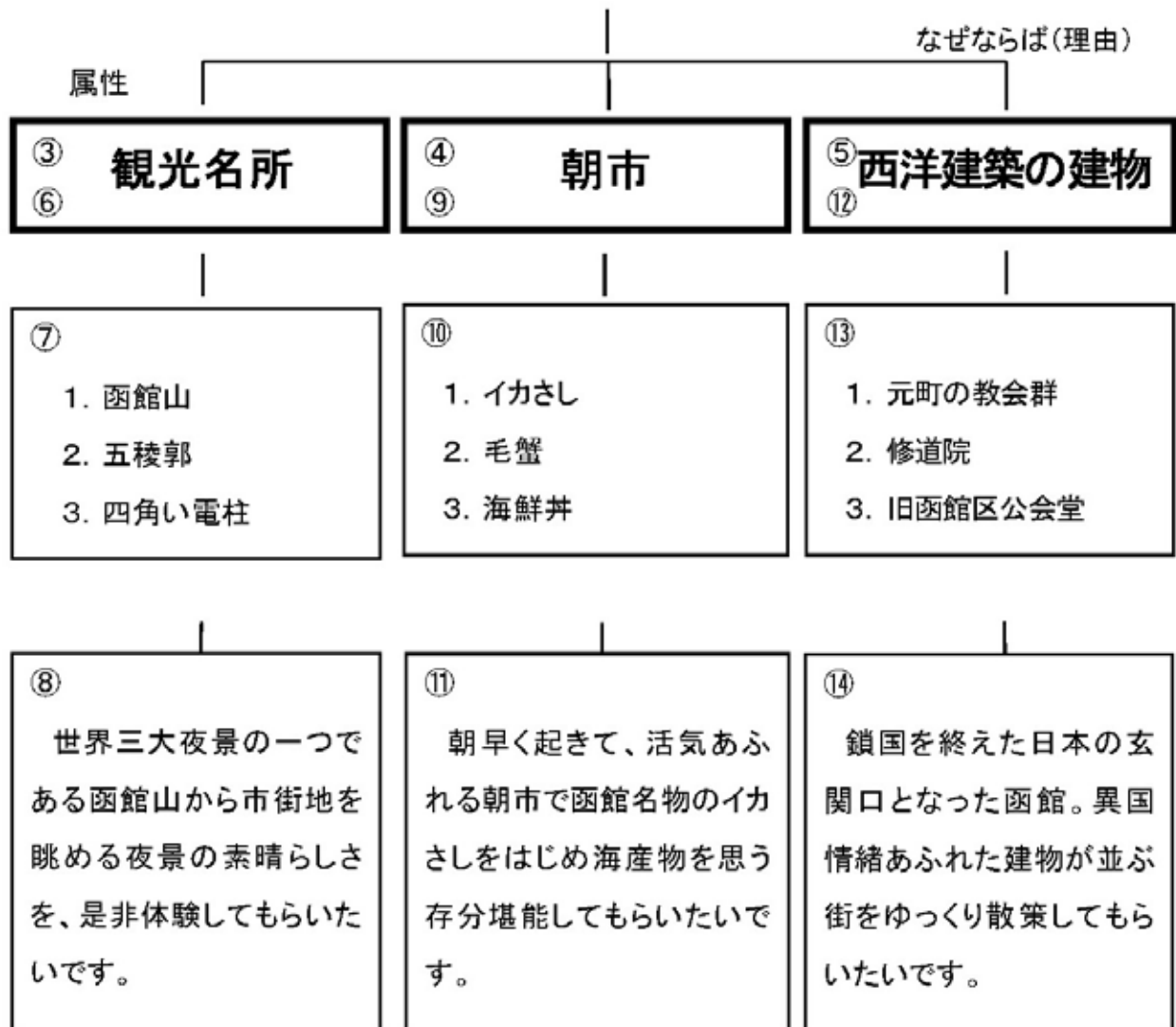
### **【ポイント】**

- (1) 文字量を揃える... 簡潔明瞭な文章
- (2) 文体表現を整える
- (3) 異質な情報を混在させない... 視点のズレ防止

例

テーマ: ①  
⑬  
**私がお薦めする観光地**

結論: ②  
⑮  
**函 館**





## 9. 幼児の交通事故原因を踏まえた指導内容(参考)

### (1) 主な原因

道路への飛び出し

車両の直前・直後の横断

### (2) 指導内容

指導内容が決まったら、教育技法を選択します。交通安全指導の場合は、「紙芝居」「絵本」「映像」「腹話術」「積み木や園庭(道路の演出)」「クイズ」「ゲーム」等があります。

歩行する場所と歩行の仕方

横断歩道の渡り方

信号機のあるところでの渡り方

信号機のないところでの渡り方

踏み切りの渡り方

標識・標示

### (3) 留意点

車両近く、または物陰での遊び

道路を隔てた対面者への言葉かけ

手を挙げてても車両は止まらない

後ろの音にも注意

目立つ色の服

反射材の貼付

## 10. 高齢者の交通安全意識を啓発する

### (1) 交通事故の原因

歩行者その他の「発見の遅れ」

信号が変わる時や車間距離などの「判断の誤り」

アクセルとブレーキなどの「操作上の誤り」

### (2) 事故防止に向けた取り組みとして

反射材をつけるための啓発活動                      粘り強く指導していく。

免許証の返納を促すための啓発活動                粘り強く指導していく。

認知症と老化現象は別問題

## 3【交通安全指導等の実践】

### 1. 交通安全講習、イベント等での講話準備

(1) 下記の【交通安全講習、イベント等(状況・場面)】での目標を明確にする。

(2) 参加者に何を伝え、どのような講話を行うのか? 「テーマ」を必ず設定する。

(3) その後、主題を30文字以内でまとめ、話の展開を考える。

(4) 生きた話をするための仕上げは『表現力』である。

## 2. 講話の実践

【交通安全講習、イベント等(状況・場面)】での指導テーマ。

1 幼稚園・保育園で、「交通安全指導(例えば、横断歩道の渡り方)」について。

2 小学校・中学校で、「自転車の歩道通行マナー」について。

3 高校で、「バイクや車の免許取得に関する指導」について。

4 保護者に対して、「自転車が歩道を通行できる要件」について。

5 老人クラブ・高齢者福祉施設で、「反射材の着用」「横断歩道の渡り方」について。

設定するテーマを選択する

主題 上のテーマで、最も言いたいことを30文字以内でまとめる。

話題 上の主題を裏づける内容として、何を参加者に伝えたいのかをナンバリング方式でまとめる。

### 自信について

「不安だ」「自信がない」という意識を払拭するために、やるべきことは何か。

・タスク「やるべきこと、やってもらうこと」を明らかにすること

・タスク達成に必要な「能力」や「意欲」を見極めること

能力 = タスク達成のための知識、経験、技能

意欲 = 自信、感心、動機の高さ

自信を得るためには、知識経験技能をつけることが必要である。また、人の手を借りて完遂したものは、自信に繋がらない。どんなに小さなものでも、自力で完遂することが重要。

極力自身での完遂に務め、自信をつけていく。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝ 質問・回答 ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

【質問】

高齢者に向けて、よく脳のトレーニング等、簡単なレクリエーションをしますが、はずかしがられてなかなか意欲を出してもらえない時があります。楽しく参加してもらうための効果的なきっかけづくりを教えてください。

【回答】

「楽しく参加してもらうための効果的なきっかけづくり」ということですが、そもそも「脳のトレーニング等、簡単なレクリエーション」が、講習会参加への『きっかけ』となるのではないのでしょうか？また、脳のトレーニングとレクリエーションとして、どのようなことを実施されるのか。その具体的な内容がわかれば、何等かアドバイスできるのですが…。そして、「恥ずかしがられて」という点では、指導員の方は、少し背中を押してあげるといふか、一歩踏み出せるように手を取り、『輪』に加わってもらうとよいでしょう。

【質問】

ロジックツリーの組み立てに当たっても、「話材」が少ないと難しいと考えるのですが、いかがでしょうか？また今後講話する機会が出た時にそなえて、普段からアンテナを張っている事が大事だと思いますが、役立つ情報誌(情報ソース等)ありましたら、ご教示願えればと存じます。

【回答】

おっしゃる通りです。普段から「アンテナ」を立てて、まずは交通安全に対する「ご自身の考え」を明確にしておくことです。その基盤は、『道徳観』です。そして、役立つ情報誌(情報リソース等)は、私より、むしろ皆様の方が専門的な知識や情報を得られる環境にあると思います。どのような情報が欲しいのかわかりませんが、県警が開示している情報、図書館や書店で収集した情報等から、受講者に最も伝えたいことを抜粋して、ご自身の考えを添えると立派な講話になると思います。

【質問】

テーマ・結論・属性に促した考え方のまとめ方が分かった。ただ、討論ではそれぞれの意見をばらばらに出すので、自己満足の感じがした。先生から討論時のあり方についてもアドバイスしてほしい。

【回答】

ロジックツリーは、あくまでも『思考整理術』です。討論の場合は、話し合っている内容の『収束技法』になります。従って、討論の場合は、出された意見をまとめるために、「可視化スキル」が必要です。『切り口法』としては、SWOT分析。『構図法』としては、フローチャート法(プロセスマップ法)、マトリクス法、ロジックツリー法があります。どのような目的・テーマで討論を行うのか。その討論の種類もたくさんあり、ご質問の「あり方」への回答としては、討論の種類によって異なるため、一度、ファシリテーションに関する書籍を一読されるとよいでしょう。

【質問】

突発的に話を振られた時の、話の組み立て方、ポイントを聞いてみたいです。

【回答】

よくあるパターンですが、「あなたはどのように思いますか？」と切り返す方法があります。しかし、きちんと回答する場合は、やはり日頃から、色々なことに興味と関心を持って、事柄・事象に対する自分の考えを持っておくことです。そのためには、日頃から色々な価値観を持っている方々とコミュニケーションを図ることで、考えの幅を広げることだと思います。

【質問】

話をする時間が少ない時(10分～15分)は何について強調して話せば効果的でしょうか？ 保育園、幼稚園の保護者対象の場合

【回答】

その時々「講習会のテーマ」にもよりますが、指導者として最も伝えたいことを端的にお話されるのが良いと思います。保育園や幼稚園ですと、やはり子どもたちの『命の尊さ』でしょうね。意識変革を促す内容を3分間くらいでまとめ、あとは具体的な行動変容を促す「スキル」をお伝えするとよいと思います。

【質問】

子供達を引きつけるにはどうしたらよいか。

【回答】

講習会が始まる前に、子どもたちの「心を掴む」ことも大切だと考えます。できる限り、子どもたちに歩み寄り、短くてよいので言葉がけをすると、子どもたちは、心を開いてくれると思います。講習中は、カスタネットやタンバリン、笛など、音が出るものを活用するとよいでしょう。

## 講義「紙芝居の演じ方」 / 12月9日(月)15:30～16:35

おの いづみ(イラストレーター)

配布資料:「紙芝居の演じ方」講義資料

交通安全紙芝居「あ～した てんきにな～あれ！」

交通安全絵本「さくらが さいた」



紙芝居を演じる前に必ず下読みをすることが大切。繰り返し下読みをすることによってキャラクターを設定し、登場人物の気持ちをつかむこと。(下読みをする際はト書きを参考にすると、おのずと主人公の気持ちになれる)

- ・話をするというより、キャラクターを演じることによって、リアリティが増す。
- ・紙芝居というのは、子供と物語を共有するというイメージであり、共感を与えることができ、交通ルールを伝える上で、非常に有効な手段である。

### 【発声の基本】

- ・喉から声を出していると、枯れてしまう。 お腹から声を出す必要がある。
- ・マイクが無くても声を通るくらいの発声 背筋を伸ばし、お腹に力を入れて声を出す。
- ・話す前に口の開け方の練習「あ・え・い・う・え・お・あ・お」「か・け・き・く・け・こ・か・こ」...、という発声練習をする。

### 【喜怒哀楽の表現の仕方】

喜 = 明るく、楽しく笑う

怒 = 低めの声で口をとがらす

哀 = 悲しみの表現、表情は抑えめにし、口は広げて開けない、泣く、泣きじゃくる、すすり泣く

楽 = 明るい声でやや早口に 喜と同じ

- ・喜怒哀楽と音階を使い分けても声色の幅が広がる。

### 【演じ方の基本「声」について】

会話

語りの上手な語り方

擬音

・声色(声帯模写、物まね)は使わず、音階(ドレミファソラシド)、言葉尻、口の開け方、高低、緩急、強弱、明暗で、登場人物の声を使い分けることができる。

・セリフでは声の喜怒哀楽に、「明暗高低」を付け加えると、8種類の声のバリエーションを作ることができる。

・「高低 強弱 緩急 明暗」を使うと多くの声色を使うことができるので、登場人物のセリフにより使い分けする。

- ・ナレーション(語る)も、場面に合った使い分けができるように。
- ・擬音を表現する際に太鼓などを使用すると、子ども達が道具に集中してしまうことがあるので、できるだけ、道具に頼らずに擬音は口で表現した方が良い。

### 【演じ方の基本「間」について】

- ・間の取り方は自分のキリの良いところで、一度切り、話を続ける。
- ・短い間と長い間の取り方。(日が変わったり、区切りの付き方にも大きさがある)
- ・声の使い分け(ドレミファソラシドの音階によって演じ分けることができる)。

#### 息つぎの間

- ・場面の状況が変わるところで、息つぎをする。

#### 話変わりましての間

- ・場面転換や状況が変わる時に取る間。例えば、夜から朝への場面転換時に、3～4秒ほどの間を取る。

#### ドラマを生かす間の取り方

#### 期待させる間の取り方

#### 登場人物の気持ちになった間の取り方

### 【演じ方の基本「抜き」について】

紙芝居は基本は真っすぐ平らに抜く。

途中まで抜いて止める。

サッと抜く、早く抜く。

緊張感がある場面や急いでいる場面で使用する。

ゆっくり抜く、静かに抜く、抜きながら話す。

余韻を残す時。

画面を動かす。

場面によって上下前後に紙芝居を揺らすと風に吹かれている様子や歩いている場面など臨場感を表現できる。

### 【紙芝居を演じる際の要点】

- ・締めを楽しくする。何を守ってもらいたいかを覚えてもらうために歌を入れるなど、色々工夫する。季節の歌に合わせることも有効。
- ・開始(導入)時には子ども達の興味を引くために、お遊戯などを取り入れて興味を持ってもらうことも有効。疲れた時などにもよい。
- ・紙芝居は途中で止めない。最後まで演じてから話をまとめる時に約束事などを決めるとよい。
- ・ブレーキや衝突音等、音を出す場合があるが、可能な限り擬音を用いて口で表現する。太鼓や楽器を利用するところもあるが、それによって子供の意識が紙芝居から逸れてしまう恐れがある。(あくまで逸れなければ良いので、紙芝居の裏等で音を出す等の工夫が必要になる。)

＝＝＝＝＝＝＝＝＝ 質問・回答 ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

【質問】

声色は使わなくても良いとのことでしたが、いろいろな登場人物の声を使い分けるに当たり、練習方法とかありますでしょうか？

【回答】

まず登場人物の気持ちを理解し、ドレミの音階に合わせて、男の子、女の子、男性、女性の口調を考えながら、声に出して練習してみてください。私の場合、テレビを見ている時も、芸人、俳優女優、CM、声優さん達の話し方等を参考にしています。

【質問】

何年ぐらいかけて色々な役を使い分けられるようになりましたか？

【回答】

正直言いますと、子どもの頃から声のモノマネが好きで、自己流で犬、猫、ヤギ、ニワトリ等動物から始まり、TV 漫画キャラクターの声真似をしていました。婦人警察官になり交通総務課の安全教育に携わる様になって、本格的に発声練習、腹話術、紙芝居、縫いぐるみに入っているキャラクターの声を練習しました。年数ではなく、興味を持てば自然と体得出来ると思いますので、恥ずかしがらず、声に出して挑戦してみてください。

【質問】

紙芝居の作り方を教えて欲しい(中身)

【回答】

まず、紙芝居の枚数を偶数枚で何枚の構成にするかを定める

(例: 10枚構成の場合 人物紹介に2枚、テーマに合った物語のスタートに3枚、テーマの内容に3枚、結びの2枚構成になる。)

次に、紙芝居のテーマを決める。例えば「飛び出し」「信号のある交差点 安全な渡り方」や「自転車の正しい乗り方」などの物語を作る。物語は、交通事故に合わないよう注意喚起するものなので、出来るだけ、死や血(すり傷位は大丈夫です)などは扱わない絵を描く時の注意点、紙芝居を抜く左側に車が走る方向や飛び出したり、歩いている人物の向きが行くようにする事。

(例: 10枚構成の場合 「起」=人物紹介と物語の始まり 2枚

「承」=テーマに沿って「転」に至るまで 3枚

「転」=事故に合いそうになり助かる展開 3枚

「結」=事故に合いそうになった事の反省交通ルールを守る事への誓い 2枚)

これはあくまでも私の作り方ですので、今回の資料としての紙芝居も参考にして、ハッキリ後ろからでも見える様に、絵を描くと良いと思います。

【質問】

今日の会場の広さでも紙芝居の実施は可能でしょうか？後ろの方は見えにくいです。

【回答】

今回演じた「ドライブドライブ」のサイズはA2サイズですがそれでも後ろの方は、紙芝居が見えにくかったとの事ですので TOYOTA さんの紙芝居のサイズだと、厳しいと思います。カラーコピーして大きい台紙に貼り付け、独自に大きい紙芝居を作っても、安全教育に利用するだけなら大丈夫かと思います。内閣府の担当者からTOYOTA さんに確認頂ければ確実です。

【質問】

子供の交通安全教室でまだ紙芝居を取り入れていません。先生の紙芝居を見せていただいて是非取り入れたいと思いました。お話しを始める前、皆に興味をいだかせ集中させる方法としてクイズや○×形式以外にも効果的な方法はありますでしょうか？

【回答】

今回の指遊び、手遊び以外に、簡単な手品や指人形、手袋人形等(腹話術の発声)で、紙芝居に集中して貰える様にやりました。勿論、クイズやお遊戯、簡単な体操でも良いと思います。但し、目的は、紙芝居を見てもらう前の導入ですので、騒がしくなったりしない様な、導入方法を考えて見て下さい。

【質問】

紙芝居ありがとうございました。「あ～したてんきにな～れ」紙芝居の中で横断歩道を渡る時「手をあげて」ということばがありました。現在手をあげることを指導していないと思いますが、この紙芝居を作成された時は使用していたのですか？その理由について教えて頂きたいです。

【回答】

今回のこの紙芝居は、TOYOTA さんの制作で、皆さんの資料として、手元に有るので教材として使いましたが、私の作品ではありません。確かに今は手を上げる事よりも、目と耳で確実に車やバイク、自転車が来ない！とか、止まってくれたのかを見て、音を聞いて確認する作品を心がけています。今回の紙芝居の場合は、紙芝居の最後に、手を上げるより確認する事の大切さを、締め括りとしてお話しして下さい。



## 事例発表「幼児・児童の交通安全について」 / 12月9日(月)16:45～17:00

関 福 二

(千葉県柏市交通安全推進隊 あさひ隊 隊長)



全国的に少子高齢化が進んでいるが、柏市も例外ではない。人口43万人のうち高齢者(65歳以上)の占める割合は、4人に1人と高齢化が進んでおり、6年後(2025年)には4人に3人が75歳以上の後期高齢者になり、高齢化が加速している。

事故に関しては、圧倒的に被害者、加害者とも高齢者が占めている。隊員が心がけて児童に教えていることは、後方確認。しかし、実行には至っていないのが現実。

対策として、交通施設課の協力を経て、小学校では、自転車の正しい乗り方の講義、実技。高齢者に対しても自動車教習所の協力の下、講習会、実技指導を、また、スポーツの面でも、ゲートボール大会を開催して頂き、前方、右、左、後方(赤、青)を確認してプレーに入るよう安全確認指導を行っている。

隊員は、7名で朝7時～8時の間、東武線の踏切や県道の交差点、学校の正門前で、活動を行っている。私の範囲では、発足以来何事もなく済んでいるが、他の町会では、昨年も車と自転車の事故が発生して、小5の女の子が亡くなっている。

10月現在柏市の事故発生件数及び死亡件数によれば、全国で千葉県はワースト1位、その中で柏市は千葉県ワースト1位という事態である。原因は様々だが、柏市は国道が6号、16号と2つあり、それに繋がって県道、市道細かく走っていることが考えられる。

これまで大きなトラブルが発生した事例はないが、一つだけ、恐怖を感じたことがあった。

2019年2月19日午後4時40分頃

信号のない交差点で、乗用車と自転車の接触事故が発生。乗用車は立ち去った事により、ひき逃げ事件として捜査が開始。

規制線により大きな渋滞が発生し、迂回路の案内に従事していたところ、あるドライバーが私に対して「ドアを叩いた！」と言いかかってきた。「指一本触れていませんので」と釈明をしても、窓を開けようともせず怒鳴り続けていた。手に負えないので、警察の方に助けに入って頂いた。そのドライバーは警察の方にもきつい言葉で「お前ら何やってるんだ！」等暴言をはいていた。大変な恐怖を感じた事、又警察の方に救われたという事を、鮮明に覚えている。

同じような場面では、車には指一本触れないこと

トラブルの発生を感じたら、速やかに警察に連絡、周囲に助けを求めること

尚、ひき逃げの容疑者は翌日午前3時半頃に逮捕され、被害者の女性は意識不明の状態から少しずつ回復しているとのこと。

## 講義「交通安全教育デモンストレーション」 / 12月10日(火)12:40～13:40

(警視庁交通部交通総務課交通安全教育係)

配布資料:

「交通安全教育デモンストレーション」参考資料

かんたんオモシロ信号機・作成用資料



【基本】

- ・交通安全の話をする前に、手遊びや歌などの導入で興味を惹きつけ、話を聞いてもらう雰囲気や体感を作る。
- ・飽き始めた時に、場の空気を変えるのにも有効である。手や足、指を使うことで、認知・判断・行動の説明に繋げることができる。
- ・腹話術... 皆が知っている童話などを組み合わせての話もあり。

その他

- ・園庭や周囲で歩行訓練の際、事前の解説で実際の写真を用いると、子どもたちがイメージをした上訓練に臨むことができる。
- ・園からの要望があった場合、基本に加え、絵や写真を用いて解説すると効果的である。
- ・信号機の模型を、牛乳パックなどで工作するのも、実際に手を動かして作るのも、おすすめ。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝ 質問・回答 ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

【質問】

今回幼児向けのお話しだったので、高齢者向けだとどんな変化や工夫をされるのか気になりました。特に腹話術の技術が等身大で面白いなと思いました。

【回答】

身体能力の低下を認識しながら、自動車や自転車の運転や、無理な横断をする歩行者が事故に遭うケースが多いことから、高齢者向けの講話においては、普段より慎重に行動し事故を防ぐ意識付けができるよう、実際に発生した高齢者の事故事例、事故が起きた原因と事故に遭わないための交通ルールの再確認等、交通安全意識を高めるための内容を、パワーポイントや、腹話術、着ぐるみと警察官の掛け合いなどに盛り込むようにしています。

【質問】

腹話術をするに当たり、練習方法があればご教示願います。

【回答】

「台本通りに」「口を動かさないように」「声や口調をかえて」「動作をスムーズに」「腹式呼吸で」練習をすることも上達的手段です。苦手意識の高い方は、お人形とのコミュニケーションを楽しむことから始めてみてください。テレビを見ながらのんびりくつろいでいるときに、ちょこんとお膝の上に載せて、私「今日ごはん何食べた？」人形「忘れた～」など、思いついた文で会話をしたり、私「や～」人形「や～」私「いいね」人形「まあね」とリズムよく文字を繰り返したり、スピードをあげて練習することで声の切り替えが上手にできるようになります。慣れてきたら、少しずつレベルアップしてみてください

【質問】

- 1 警察官と指導員の相違
- 2 指導員のできる範囲

【回答】

学童への講話については、警察官も指導員も相違はないと考えます。子どもの事故防止に効果的な創意工夫をこらした安全教育をしていただけたらと思います。活動に対する指針については、各都道府県、区市町村にお尋ね願います。

【質問】

地域によっては車を持ってるのが大変な学校もある。そのような時にどのような内容の交通安全教室を行っていますか？

【回答】

身一つで講話に望むときには、腹話術やパペット、標識パネル、マグネットシアター（エプロンシアター）、

紙芝居など、場所を取らず手軽に持参できる手法を使って講話を行います。画用紙などの手作り交通安全グッズを持参することもあります。ホワイトボードに字や交差点を手書きで書きながら、事故事例や交通ルールの指導をするのもよいでしょう。小スペースで少人数(高齢者や大人)の時は、みなさんのヒヤッと体験を座談会形式で問い、その事故の原因や守るべきルールを示す形の講話もよいと思います。

## 講義「子供の交通安全学習について」 / 12月10日(火) 13:50 ~ 15:00

山口 直範

(大阪国際大学 人間科学部 人間健康科学科 教授)



配布資料:

「令和元年度交通安全指導者養成講座」配布資料

### 1 はじめに

交通心理学

様々な心理学を応用して、交通安全のための対策、教育、講習などに活用

発達心理学

人間は胎児の頃から生涯に渡って発達していく概念のもと、より良く生きるための心理学

### 2 発達心理学の観点から交通行動を理解する

- ・発達心理学とは、乳児期(胎児期を含む)から老年期まで人間の生涯にわたる発達を扱う心理学  
胎児期・新生児期・乳児期・幼児期・児童期・青年期・成人期・老年期
- ・「生涯発達」の考え方  
人間の発達若いうちはピークに後は落ちていくものではない  
人間は人生を全うする最後まで発達を続けていく
- ・時間軸の中で加齢とともに心も体も行動も変化していく過程を発達と呼ぶ生態学的には、就学に伴う通学が作り出す、活動システム全体の変化と考える。
- ・人間発達のシステムモデル  
河合(1989)は、“新たなシステムへの変化の前には不安定な移行前状態が存在する”ことを指摘
- ・子どもの交通行動においても同じことがいえ、不安定な揺らぎを繰り返しながらより上位のシステムへと移行していくことにより安全行動が定着する

### 3 子どもはなぜ道路に飛び出すのか(発達心理学の視点から考えよう)

- ・子どもの交通事故は飛び出しが最も多い。子どもには大人と同じに見えていない... 背が低い、視野が狭い、等で道路上の車両に気がつきにくい。
- ・子供は、大人と比べて視野が狭く、「右見て、左見て」道路を横断することの意味や重要性を子供や保護者に伝えていくことが大切。  
まだ他者理解ができていない... 「自己中心性」  
相手の立場から物事を見ることができない。位置関係や車両速度を正しく把握できない。  
子どもは感情コントロールが苦手... 情動の発達。(感情の抑制が苦手)心の理論を獲得した後も飛び出してしまふ。また、信頼できる大人を安全地帯として使う特性がある。  
意味も分からず子供に注意するのではなく、行動特性を大人が理解することが大切。

#### 4 心理学を活用した教育技法(子どもの命を守り続けるために)

目先の安全にとらわれない本当の交通教育...「危険感受性」を磨く。

危ない目に遭う前に予測して回避する技術を身につける。

「最近接発達領域(ZPD)... サポートがあってできる領域と自分で出来る領域がある。

危険との距離感をつかみ、危険を学ぶ機会をつくるのが大切。

・養育者が子どもを交通事故から守ろうとする気持ちが強すぎるため、危険から遠ざけるばかりの教育になってしまっはいけない。

・大人が一方向的に安全な環境を作るのではなく、子どもに危険を考えさせる領域を残しておくことが必要

能動的な交通安全学習... 他者を頼りきった学習だと警戒心が乏しくなる。

ピグマリオン効果(期待されると応えようとする)...「やらされている」教育は避ける。

また、やらされている行動は、監視の目が届かない場所ではサボるようになってしまう。

#### 5 自転車運転のための交通安全学習

被害者教育と加害者学習

自転車は利用するものではなく、運転する車両 責任を伴う

今までは被害に遭わないための教育が中心だったが、これからは加害者になる可能性も教育

能動的に子どもが学ぶ体験型交通安全教育

- ・子どもの発達特性や実態を把握した教育なのか？
- ・今やっている教育は生態学的に妥当なのか？
- ・課題の難易度は適切なのか？

生態学的妥当性を踏まえた自転車教育

・学校のグラウンドや教習コースで子どもたちが見せる運転を否定しているわけではないが、子どもという生物の自転車行動特性を理解しているのか

- ・多くの幼児が就学前に自転車に乗っている(6割前後)
- ・小学3年生への交通安全指導を自動車に例えると... 運転歴4年目くらい(車だと初心者マークが取れて初回の運転免許証更新を終えている状況)

現実的・実践的教育内容が必要

子どもたちの興味を惹く工夫

楽しく学ぶ

単純なコース走行ですぐに飽きる

現実の交通に近い環境設定

無人の道路にたった一人だけ自転車で走行？難易度の高いコースレイアウト

いつも運転している車両

成長の著しい小学生は大きめの自転車に乗っている  
いつもの知っている場所

写真や事例は身近な内容にして、現実感を持たせる

自転車は車道へ、というのを小学6年生のうちに学習しておく

#### 人間の行動

- ・子どもの交通行動に当てはめると、気質や性格等の個人特性と生活環境や家庭環境との相互作用によって子どもの交通行動が培われる。
- ・もちろん子どもの周囲にいる大人の行動も決定因の一つとなるため、大人が子どもたちの前でモデルとなる正しい交通行動を示さなければならない

#### 【負の学習(モデリング)例:信号無視】

子どもは大人の自転車の信号無視を見て 参考にして 学んで(負の学習) 自分の中に取り入れて 状況によって信号無視をする



＝＝＝＝＝＝＝＝＝ 質問・回答 ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

【質問】

幼児の特性(視野・危険感受性等)を知ってからこそ現場で指導するに当たっての説得性が増すと思いました。山口先生がおっしゃっていたように幼稚園にうかがうと、幼児の特性を理解していない保護者の方が多く感じます。より理解してもらうためにはどのように発信するのが効果的か教えていただきたいです。

【回答】

私は幼稚園教諭の養成課程に7年間在籍していましたが、教諭になるためのカリキュラムには交通安全に関する科目がありません(交通に限らず安全教育が抜け落ちているのです)。そのため、子どもの交通行動に関しては、保護者の方々だけではなく、先生方もあまり特性を理解されていないように感じています。PTAなどの保護者活動を通じて幼稚園の取り組みとして配信してもらうのも方法です。その際は、多くを語りすぎず興味を持っていただけるようなテーマに絞り、複数回に分けて実施した方が効果的だと思います。

【質問】

保護者の方等への安全教育をどの様に広げて行ったらいいですか？子供にとって交通安全教育者は保護者が一番であると思うし、またそれに気づいてもらいたいと思うのですが。

【回答】

そうですね、私も保護者から伝えていただくのが一番だと思います。上記の幼稚園を通じての方法も有効ですが、切り口を変えてみるのもいいと思います。交通安全は子どもの命を守るための活動です。私が保護者対象の勉強会をするときは、交通安全教育の勉強会と題せずに「子どもの命を守るための学習会」として開催しています。多くの保護者は、自分の子どもの命を守るための知識が学べると思えば興味を持ってくれます。交通安全教育のみではなく、災害や生活(犯罪)の安全教育と一緒に交通安全を伝えてみてはどうでしょうか。

【質問】

子供の引きつけ方

【回答】

講演でもお話ししましたが、褒めることと自分で考えさせることが重要です。多くを語りすぎず、自分で考えて行動するための領域を残しておくといいです。簡単すぎず、且つ達成できる範囲の課題だと能動的に取り組んでくれます。発達段階に応じて、視覚や聴覚(音)を用いて危険を探す子ども用の教材がありますので活用してみたいかがでしょうか。また、子どもたちが知っている場所の写真や動画を利用すると、さらに興味を持ってくれると思います。

【質問】

大変いい講義内容だった。大人と子供の能力の違いの話は面白かった。外国では3才位からキックバイクの練習をするとのことだったが、交通教育は早ければ早い程やれば効果があがるのだろうか？

【回答】

発達段階に応じた交通安全教育であることが重要であるため、内容にもよりますが早すぎると効果は期待できません。講演で紹介したキックバイクでの取り組みは、交通安全そのものを教えるのではなく、乗り物遊びを通じて無意識のうちに車両感覚や譲り合い(お互いさま)を学ぶ内容でした。また、体幹トレーニングにもなるため、転んだ際にけがをしにくくなると思います。早い段階での交通教育と言うよりも、交通安全につながり、将来役に立つ内容を意識してみてはいかがでしょうか。

【質問】

海外での安全教育の取り組み、とても興味深かったです。ドイツ、デンマークなどの教育方法を詳しく教えていただきたいです。

【回答】

ドイツでは、小学校の教育の中に自転車運転のためのルールや走行における注意点などが年に一度の行事ではなく、継続的に授業へ組み込まれています。すなわち、教育内容の体系化と段階的な学習目標の設定がなされているのです。小学校の高学年になれば、基本的なルールに留まらず、具体的な交通場面を想定し、どう行動すべきかを考える実践的な内容が組み込まれています。

【質問】

大人も子供も監視の目がなくなると「まあいいか」という意識が働き、ルールを守らなくなる傾向がありますが、自発的に守るようになる効果的な心理学みたいなものはありますか？

【回答】

理想は、独立した交通参加者として監視の目がなくても自分を律することができるようになればいいのですが、成人ドライバーでも難しいです。残念ながら特効薬のようなものではありませんが、心理学では人間の行動を変容させるには主に2つの方法があるといわれています。1つは、コツコツと反復学習させて習慣化することです。もう1つは、「えっ、そうだったの」と思わせるような、今まで知らなかった新事実を知る(伝える)ことです。そう簡単に見つかりませんが、地域の中で自分では正しいと思っていた交通行動が実は間違っていた(あるいは危険だった)と気付かせるような内容が効果的です。

## 講義「いきいき運転講座」 / 12月10日(火) 15:10 ~ 17:00

池田 佳代(株式会社コンセプト 代表取締役)



配布資料:

「令和元年度交通安全指導者養成講座」配布資料

「いきいき運転講座」教材

### 【「いきいき運転講座」の考え方と特徴】

#### 「いきいき運転講座」とは

- ・脳を元気にし、ワイワイ話し合いながら交通安全力を高めることを目的としている。
- ・交通事故全体は減っているが高齢ドライバーの事故比率が高くなっている。一方で、運転を望む高齢者がたくさんいる。
- ・この講座は運転を必要とする高齢ドライバーに、健康で安全に運転を続けていただくために作ったプログラムである。
- ・交通安全、心理学、脳科学などの専門家でチームを作り、開発を行った。

受講者数は2008年8月より約25万人にのぼり、90%の交通安全担当者から、受講者の反応が良かったという回答があった。

受講者からは「自分で発言することで、意識が高まる」「他人の意見を聞くことで、自分が気付かないことがわかる」「時間があつという間にたち、楽しく勉強できた」などの声があり、交通安全担当者の方からは「皆に考えさせ、発表させる教室は新鮮でよい」「人の意見を聞くことによって気づきや学びがある」「話合う、考える、見るなどいろいろな場面があり楽しい」という声があった。

警察庁「高齢運転者交通事故防止対策に関する有識者会議」において、交通安全教育として大変評価された。

#### 「いきいき運転講座」の考え方

コミュニケーション力を高めながら、「いきいき度をアップ」する(元気度を上げる)

監修者の鈴木春男先生(千葉大学名誉教授)や川島隆太先生(東北大学教授)によると、身近に何でも話し合える友人がいる人、活発に活動する方ほど脳機能の衰えが少なく、安全意识も高いため事故やヒヤリ体験が少ないと言われている。

#### 自分で考え、行動を変化させる

「いきいき運転講座」では上から教え込むのではなく、自分で考え、気づきの学習を目指し、交通安全力アップを図る。コーチング、ミラーリングといった教育手法を取り入れている。

## 「いきいき運転講座」の特徴

特徴1:小グループ学習などを通してよい仲間づくりをする

～よい仲間がいる人、活動的な暮らしをする人ほど安全意識が高い

特徴2:話し合いを中心に進める

～意見を出し合って、問題点を自分たちで問題解決を図る

特徴3:脳機能を高めながら交通安全を学習できる

～交通脳トレや話し合いで脳機能アップを図る

特徴4:免許がない方も参加できる

～ドライバー、助手席、歩行者、自転車等のそれぞれの立場で話し合いをする。お互いの意見を出せるので、地域の交通事故を減らし、交通安全活動にも役立つ

例)高齢ドライバーの特徴、事故時の違反について-

65歳以上の高齢ドライバーで多いのが「出会い頭事故」(約30%)である。信号機のない交差点でよく起きている。

高齢ドライバーを対象に実験を行った。「一時停止標識と停止線のある信号機のない交差点」の安全な通過方法を聞き、その後、車に乗ってもらい通過方法を観察した。約80%の方々は「停止線で止まり、安全確認してから徐々に道に出る」と正しく答えた。しかし、実際に車に乗った時に停止線で止まった方は約15%だった。安全に通過する知識はあるが、正しく行動することができないということだ。知識と運転行動のギャップを埋めるには、問題点を単に伝えるだけでなく、問題点を気づかせることがポイント。そのために話し合いや問題行動のビデオ観察が重要になる。

知識を行動のギャップをどう埋めるのか

- ・小グループでのディスカッション
- ・運転の問題行動をビデオで観察等

## 【「いきいき運転講座」の構成】

「交通脳トレ」と「交通安全トレーニング」を組み合わせで行う。

指導者用資料には「台本」が入っている。あいさつから説明まで、そのまま読み上げるだけで、初めての方でも講座を進めることができる。



交通脳トレ

+



交通安全トレーニング「自分の運転を振り返る」

意見を述べ、班長が班の意見としてまとめる

## 【「いきいき運転講座」体験】

### 1. 「いきいき運転講座」の流れ

あいさつ

導入

・4～8人一組のグループを作り、班長を決める(班長は話し合いの進行と数字、意見をまとめる係)。

・グループ内で自己紹介(名前、地域、趣味など) よい雰囲気づくりができる。

・班長が面白いエピソードの人をまとめて発表

「交通脳トレ」

・脳の機能を高める「交通脳トレ」1日分、2問を実施。

「交通安全トレーニング」

・ワークシートを活用し、グループで話し合う。(班長は最後に話をする)

・ワークシートの質問は5つから8つくらいで、答える中で解決策が見つかるように組み立てられている。自分の経験などを交えて話をする共感・発見をしやすい。

・グループごとに気づく内容が違うので、一問ごとにグループ内でまとめた結果や意見を班長が発表し合うことで知識が広がる。

#### 1 運転の自己評価

四輪車に乗って、一時停止標識と停止線のある細い道から2車線道路に出る際に、きちんと止まって、安全確認をしているか、普段の運転を振り返って、100点満点で自己評価する。

#### 2 安全な通過方法を話し合い

どのようにすれば安全に通過できるかグループで話し合う。(班ごとに、一人一言ずつ意見を述べ、班長が班の意見としてまとめる)

#### 3 ビデオを見る

実際に停止線で止まった車の数を数える。

#### 4 ビデオの感想

ビデオを見てどう思ったか、どんな感想を持ったかを話し合う。(自動車、自転車、歩行者等のお互いの立場等でも行う)

#### 5 ビデオの解説編を見る

ビデオで自動車、自転車、歩行者等の問題行動を確認。問題行動の原因と解決法をグループで話し合う。

#### 6 もう一度、運転の自己評価

100点満点で運転の自己評価を再度行う。映像を見たり、話し合いを行った後、自己評価に変化があったかどうか確認する。

## 2. 進め方のポイント

### (1) 普段の運転を振り返り、講座の前後に100点満点で自己評価

グループの話し合いやビデオ観察により、自分の問題点への気づきを促すことができる。前後での点数の変化について考えることで、短時間に教育効果ははかられる。点数が下がった人、自分の運転を反省

### (2) いきなりビデオを見せない

ビデオを見せる前に、グループで話し合い、正しい通過方法を確認する。それによって、ビデオの中の車の動きがいかにかに不安全であるかがよくわかる。

### (3) ビデオで人の振りを見て、我が振り直す

ビデオで問題行動を見ることで、自分の問題点をつかむことができる。

### (4) 違う意見、共感する意見の中から学ぶことができる

異なった意見を聞くことで気づかなかったことを発見し、共通する意見からは励ましを得る。互いの意見を尊重することが重要である。

## 【「いきいき運転講座」のその他のプログラム】

「いきいき運転講座」には、他に「いきいき運転・いきいき生活」「危険予知トレーニング」「ヒヤリ体験を生かす」の3種の交通安全トレーニングがあり、「交通脳トレ」と組み合わせて実施できる。

## 【「いきいき運転講座」の話し合いの効果】

- ・自分の意見を言い、人の意見を聞く中で学び合い、「気づき」や「発見」がある。
- ・1人では無理でも、グループで話し合えば、みんなの知恵が集まって、指導者が伝えたいと思っていることが、考えだせる。話し合いが終わった後、もれている内容があれば指導者は補う。
- ・自分で出した意見は忘れにくい。自分が見つけた答えは実行しようとする。

## 【よくある質問】

高齢者は本当に交通安全について話せるのか？

- ・交通参加者としての長い経験
- ・わいわいがやがやと楽しい交流ができる。

高齢者は「班長」になって、話の進行役ができるのか？

- ・先生、管理職、地域の世話役経験者をお願いする。
- ・会議の要領で進める。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝ 質問・回答 ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

【質問】

いきいき運転講座を受講してみて、4人グループの中でいろんな意見を取り入れたり、発見があって面白かったです。その中でも実際に身近な地域内でヒヤリ地図を作成するというアクティビティは興味深いなと思いました。ちなみに多い人数のところで最も効果的なアクティビティがあれば教えていただきたいです。

【回答】

「ヒヤリ地図づくり」は、居住地区ごとにグループを作って行っています。参加人数が多いときは、各グループ10人程度に増やして実施しています。日にちに余裕があれば、別の日に危険個所を示すシールがたくさん貼られた場所で交通観察をすると、より実感を持って安全を確保するにはどうしたらよいか考えを深めることができます。

ビデオを使った講座は、大人数でグループ討論が難しい場合、講師が質問を投げかけ、指名して答えをもらうという形で行うと、時間を短縮しスムーズに進めることができます。

【質問】

非常に素晴らしいとしか言い様がありません。グループ討議に於いても発言しましたが、「場」が必要と思料します。どうやって、どこで「場」を作りましょう。

【回答】

指導者の皆様に「場」づくりについておたずねしたところ、単独ではなく、高齢者に関する団体と連携するという答えが多く寄せられました。市町村役場、警察署、老人クラブ、シルバー人材センター、民生委員、自転車販売協会、交通安全協会などと連絡を取り、企画の際に交通安全を加えたり、集客の協力をするとのことです。高齢者が集まる「いきいきサロン」などのスペースがある地域では、お茶を飲みながら、少人数で親密な雰囲気で行うことができよかったという声をいただいています。

【質問】

高齢者、特に男性を引きつけるには。

【回答】

運転について特に男性は自信を持っておられる方多いようです。講師が教えるのではなく、みなさんの長い運転経験を話題にして、事故にならない運転を考えていただく。話せば話すほど良い答えが出ます、というふうにお話しし、講師の方がいろいろな知恵をいただくというスタンスでご参加いただくよう心掛けています。

【質問】

高齢者も含めた講座もありますか？具体性(ビデオ等)があって大変良かった。

【回答】

「いきいき運転講座」には、全部で4種類3項目(合計12)の教材があります。今回ご紹介させていただいたのはその1つで、他にビデオを活用した教材が2項目、「いきいき運転・いきいき生活」「危険予知トレーニング」「ヒヤリ体験を生かす」という内容の講座がそれぞれ3項目ずつあります。すべての教材が入ったDVDを無料でご提供しております。ぜひご利用ください。



## グループ討議結果発表 / 12月11日(水)9:20～10:20

### 「高齢者の交通安全」Aグループ

#### 【現状の課題・問題点】

1. 交通安全セミナー等への参加人数が少ない  
自身の老化を自覚できていない方がおり、平行して、安全意識への低下にも繋がっている。  
また、独り暮らしかつ老人会等にも参加されていない方にも参加していただく必要がある。
2. 免許返納が呼びかけにくい(要因が後述)  
地方であればあるほど、公共交通機関や予算の関係で、生活に支障をきたす可能性があり、呼びかけにくい現状にある。

#### 【課題・問題への対策案】

1. 交通安全セミナー等への参加人数が少ない  
自身の老化を自覚できていない方がおり、平行して、安全意識への低下にも繋がっている。  
・参加回数に応じてグレードアップしていく特典(ディナー券や反射板等)を用意する。  
・地域で有名な芸能人や、ゆるキャラ等の起用  
・地域のケーブルテレビでの呼びかけ  
  
セミナーにおいては、  
・老化現象を体験してもらう  
・勉強という括りではなく、ゲーム感覚で楽しく、知ってもらうことが重要。
2. 免許返納について  
・返納に対する補償を充実させる。  
・専門医に伝えて貰う。  
・また、サポカー(安全運転サポート車)等への買い換えを推奨し、国からの助成金の存在等を知らせる。

#### 【対策案を実施する上での問題点など】

- ・独り暮らしかつ老人会等にも参加されていない方への誘致の難しさ
- ・参加人数の少なさの中で、男性がとくに少ない
- ・免許返納をし、自転車へ乗り換えた方への自転車講習の推奨

## 「高齢者の交通安全」Bグループ

### 【現状の課題・問題点】

1. 横断歩行者の安全対策
2. 加齢に伴う、能力低下の自覚・把握
3. 免許返納
4. 教室に参加しない方がいかに参加してもらうか
5. ルールがわかってはいるが、実行に至らない方

### 【課題・問題への対策案】

1. 地域ぐるみの取り組み
  - ・ドライバーの早めの点灯
  - ・日暮れ時の外出を控えてもらう
  - ・服装・反射材の周知  
効果を伝えるために、実際に光るところを見て貰う等  
孫からの声かけ
  - 身に付けやすいデザイン
  - ・免許更新時で、注意事項を伝える
2. 寸劇や、体験型で、実感できる場を設ける
3. 認知機能を落とさないような取り組みをする
4. 健康診断などで結びつけたり、粗品などを渡したりすることで、来て貰えるきっかけにする
5. 体験型教室にて、事故の怖さを伝える。自覚を促し、繰り返し伝えていく

### 【対策案を実施する上での問題点など】

1. 反射材の着用の実用化、煩瑣材の商品の選び方
2. 自信の直面している課題を示されても、自覚してもらえない
3. 予算、人、場所の不足
4. 免許返納促進の企画を立てる時、すでに返納されているが、条件に合わない方などの問題も出てきている。

## 「自転車の交通安全」Aグループ

### 【現状の課題・問題点】

1. 交通ルールの周知徹底(子供から大人まで)
2. 中、高校生を含む大人(一般の方)への指導方法(アプローチの仕方)

### 【課題・問題への対策案】

- ・イベントなどでの啓発(ビラ・グッズ配布)。
- ・講習会や交通教室の開催。
- ・音声での啓発活動。
- ・該当指導活動など、「視覚的に」伝えていく。  
(豆腐を使い、落とし、ぶつけることによって脳が簡単に壊れてしまうことを実演し、ヘルメットの大切さを伝えていく、損害賠償の金額をお札で作り、実際にどれだけのものなのか見せるなど)
- ・広報紙の作成
- ・大人が集まる講習会等において、飲酒ゴーグルで飲酒時にどういう視覚になるのかを体験してもらう

### 【対策案を実施する上での問題点など】

- ・人材、予算、機材の不足(ビラやグッズの購入など)
- ・業務が過密になってしまう

## 「自転車交通安全」Bグループ

### 【現状の課題・問題点】

一般の方へ

- ・交通ルールを守って貰うには  
～自転車への交通ルール周知の仕方について～

ヘルメット(小中学生)のヘルメットの着用を貰うためには、

中高生に効果的に教室を行うためには

### 【課題・問題への対策案】

一般の方へ

- ・交通安全教室に保護者も参加し、一緒にルールを学んで貰う

ヘルメット

- ・企業とタイアップして、補助等を行う(実例あり)

中高生

- ・生徒もボランティアとして参加し、学んで貰う。
- ・実例をあげて見える、実演するとイメージしやすい。

### 【対策案を実施する上での問題点など】

一般の方へ

働いている母親が多いので、参加しづらい。

学校側への協力が得られない

ヘルメット

タイアップ企業がいるか

予算の問題

中高生に対し

授業の時間をとってくれない

(カリキュラムが詰まっているので、先生が非協力的)

## 「幼児・児童の交通安全」Aグループ

### 【現状の課題・問題点】

- A. 幼児・児童
  - 1) 交通事故に対する実感がない
  - 2) 集中力が低い
  
- B. 保護者
  - 1) 意識が低い
  - 2) 知識が足りない
  
- C. 指導者
  - 1) 教材のネタ切れ
  - 2) 対象(学校、国)が多くて対応できない
  - 3) 指導者が足りていない

### 【課題・問題への対策案】

- A. 幼児・児童
  - 1) 教室だけでは足りないので、家庭で実際にして貰う(保護者の協力)。一人歩きの体験を行う、実際に道路を歩かせる。生活圏の映像を使った教育を行う。車が1秒で進む距離をテープで見せる。運転者の目線からの動画を見せる。
  - 2) 短時間で参加型の講習にする。(手を挙げさせる、問いかけて、答えさせる。)メリハリをつけて退屈させない。パネルシアターなどで教材に動きを多用する。ゲーム性を持たせる(ガチャガチャ等)
  
- B. 保護者
  - 1) 入学説明会、入学式など、保護者の集まる場所で説明する。お便りノート、交通安全メッセージを書いて貰う。講習会に保護者向けのメッセージを渡して、家庭でも話し合ってもらって貰う。保護者の集まる場で交通安全の話をする場を設ける。
  
- C. 指導者
  - 1) 研修会の場で、教材を紹介し合う。企業に協力(自動車メーカー、宅配便)を取り入れる。童話絵本を取り入れて、交通安全バージョンを作る。ボランティアの協力を得る。

### 【対策案を実施する上での問題点など】

- A 実際に一人歩きを体験してもらう上で、安全性の問題が発生。  
また実際の生活圏を撮影、編集等のコストがかかる
  
- B 保護者向けの教材(映像資料等)など、時間がない

保護者の参加が少ない。危機意識が足りない。

【結論】

幼児・児童、保護者、指導者、3つの対象別に教育や課題を解決する。  
そのために、周囲の協力を得ることや、コミュニティ作りを行う。

## 幼児・児童の交通安全Bグループ

### -子供(園児・児童)の命を守るために-

#### 【現状の課題・問題点】

- 1) 交通ルール・マナーの悪い保護者への啓発
- 2) 教えても身につかない子供たちの交通ルールとマナー
- 3) 定期的な通学路の安全点検
- 4) 行政と交通指導員との関わり

#### 【課題・問題への対策案】

- 1) 大人、保護者が手本になるような交通安全教室の工夫
- 2) ・学校と連携を図り、子供たちが主体的、自主的に交通ルールを守る態度を育成  
・子供たちがわかりやすい認識しやすい道路交通標識  
例)ハンマーシールによるストップマーク  
グリーンベルト  
ゾーン30
- 3) ・行政や警察、学校、自治会など、関係機関を巻き込んだ組織、しくみづくり  
・学校と連携した通学路安全点検
- 4) 交通指導員としての立場等、市行政の中での立場を各自治会で明確にする。

#### 【対策案を実施する上での問題点など】

- 1) 教室には、日頃ルールを守っている人たちしか参加してくれない状況。  
共働きの家庭が多い
- 2) 子供たちがやらされているという認識を変えていくのは、年に1回の交通教室では難しい。
- 3) 入学式や入学説明会など親子で実施することが望ましいが、時間的な制約がある。
- 4) 交通指導員としての気づきはあるが、いろいろな制約が有り、働きづらい。

## 「幼児・児童の交通安全」Cグループ

### 【現状の課題・問題点】

大人に対する交通ルールの意識付け

事故に遭うイメージができておらず、子供に対しての安全意識も低下してしまう

### 【課題・問題への対策案】

1. 安全教育する場に人が集まらない

イベント、外向け、入学、入園時に、保護者に対する安全教育を行う

2. DVD

多少悲惨なものを流してでも、問題を突きつけ、恐怖を煽る必要がある。

3. 関係者(先生、保護者、ボランティア)への安全局

実際の警察官が指導することは難しい、警官の制服を模した交通指導員の制服を着てもらい、一日交通指導員として、団体全体を巻き込んでアピールしていく。

4. 映像制作

テレビコマーシャルが望ましいがコストがかかるため、比較的成本のかからないYouTube や SNS を活用する。ただ、所属団体の出身の芸能人等、ゆかりのある人物を起用することは効果的である。

### 【対策案を実施する上での問題点など】

- ・人が集まらない
- ・資金不足
- ・ボランティアの人材不足



【質問】

幼児 C へ

交通指導員の制服について

以前役所から支給された制服を用いて、子供の見守りなどを行っていたが、制服は指導員の活動をする以外には使うなと言われている、どうお考えか。

また、制服の活用について具体的に伺いたい。

【回答】

幼児 C

制約があるのは把握している。しかし、一日警察署長等で有名人が警察官の制服を着用していることもある。無断で行うのはもちろんルール違反であり、筋を通して行うことが前提だ。

制服の活用については、制服の着用によって、自らを交通指導員として自覚する、職員の意識付けにつながるという狙いがある。

【質問】

ガチャガチャは、皆に遊び、体験が行き渡らないという問題があるかと思う。ガチャガチャやルーレットを、どのように活用しているのか具体的に伺いたい。

【回答】

幼児 A) 300 人規模を対象に講演することもあり、そのような場合、もちろんボールの数にも限りがあるが、複数のハズレを用意したり、引いたら多少関係のないことでも話題にしたりするようなものを用意している。

また、他の教材を用いる際に、お手伝いをして貰うことによって積極的な参加を促している。

## 講義「自転車の交通安全教育について」 / 1月30日(水)10:30~11:40

石井 征之

(一般財団法人 日本交通安全教育普及協会 主幹)



配付資料:「自転車の交通安全教育について」

### 1. 交通事故・自転車事故の現状

平成30年中の交通事故死者数は3,532人で、前年度より減少はしているがまだまだ多い。高齢者の歩行中の事故死者数が多い。また、毎年僅かだが高齢者の占める割合が上昇。

### 2. 近年の自転車安全対策の取り組み

#### (1) 第10次交通安全基本計画

- ・日本は道路交通、海上交通、航空交通の3本の柱を中心にして五か年計画を立て、50年目に入っている。あらゆる行政、都道府県が五か年計画の数値目標に向かって頑張っている。
- ・第10次交通安全基本計画の道路交通における数値目標は、平成32年度までに死者数を2500人以下とすることであるが、同計画が発表された平成28年の前年には、4117人の交通事故死者がいた。現在、非常に高いハードルに向かって、あらゆる方面で努力がなされている。

#### (2) 自転車安全利用五則

- ・平成19年7月に自転車安全利用五則に関する通達が出た。平成20年6月に罰則や細則をつけた改正道路交通法が施行された。

#### (3) 路側帯におけるルール

路側帯... 歩道がない道路の白線の内側(直線と破線、二本線の場合もある)

- ・平成25年12月施行の改正道路交通法により、それまで路側帯の相互通行が可能だったのが、道路の左側部分に設けられた路側帯に限って自転車が通行できることとなった。 罰則有り

#### (4) 自転車運転者講習制度について

- ・平成27年6月施行の改正道路交通法により、14歳以上であれば中・高校生も講習制度の対象となった。中・高校生やその保護者に話す場合には、危険行為14種類の自転車ルール違反は14歳以上が対象となることを是非伝えてほしい。

#### (5) 最近の自転車の安全利用に関する情報: ヘルメット

- ・愛媛県はすべての県立高校の自転車通学の生徒にヘルメット着用を義務化した。結果として、10件の自転車事故で命を守ることができたという。
- ・1年間かけて、県立高校の校長会、警察、保護者、生徒の代表等が協議をし、ヘルメット義務化を決めた。ヘルメットの形は生徒の希望を入れて、7~8つのうちから好きなものを選んだ。

・ヘルメットを着用させることは非常に難しいが、命を守るために効果があるので、これから義務化が広がっていくことが望まれる。

#### (6) 最近の自転車の安全利用に関する情報

・条例で自転車保険を義務化した自治体も増えている。非常に高額な賠償のケースが出ているので、自転車保険には必ず入る時代である。  
・全国高等学校 PTA 連合会のように、一括で全校生徒に保険をかけるということをやっているところもある。

### 3. 自転車の基本的なルール

#### (1) 自転車安全利用五則

・道路交通法2条で、自転車は軽車両とされている。これが基本である。自転車は「運転する」乗り物、自転車を「運転する」、との意識を持たせることが大切である。

#### (2) 五則の1

「自転車は車道が原則、歩道は例外」

・車道の左側を自転車で走るのに危険がある場合に備え、例外を3つ設けた。

「普通自転車の歩道通行可」の標識・標示がある場合

13歳未満の子ども、70歳以上の高齢者、身体の不自由な人が普通自転車を運転しているとき  
車道又は交通の状況から見て、歩道通行がやむを得ないと認められるとき

#### (3) 五則の2

「車道は左側を通行」

・自転車は車両である以上、日本の通行方法である「左側通行」に従う必要がある。

#### (4) 五則の3

「歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行」

・歩道は本来車両が入ってはいけない部分であることを忘れてはならない。

・小学生などには、歩道を歩く場合、車道寄りには自転車が通るから、できるだけその部分を避けて、自転車と接触しないように気をつけることを話してほしい。

・歩道では歩行者優先・車道寄りを徐行すること。

・歩行者も、普通自転車通行指定部分をできるだけ避けて通行する。譲り合う心が大切。

#### (5) 五則の4

「安全ルールを守る」

飲酒運転・二人乗り・並進の禁止

「並進可」の標識がある場合は並進可。

夜間はライトを点灯

・横浜の高校2年生の女子生徒が無灯火の自転車で看護師に追突。看護師は腰と首を痛めて仕事ができなくなり、2年後に女子生徒と父親を相手に損害賠償請求訴訟を起こした。その結果、女子生徒に5000万円の支払いが命じられた。高校生が事故を起こした場合、父親ではなく事故を起こした本人が直接責任を負う事例も出てきているので話をしてほしい。

・ライトの意味は2つあり、自分の前方の安全確認(10m先まで照らせなければならない)、及び自転車の存在を相手に知らせることである。

信号を守る

・青信号の意味は「進んで(横断して)もよい」ではなく「進む(横断する)ことができる」である。しっかり周りの安全を確認してから横断するように、幼稚園や小学校では、しっかりと教えてもらいたい。

交差点での一時停止と安全確認

・信号機のある交差点では必ず二段階右折する。矢印の右折信号に従うことはできない。  
・一時停止標識・標示は必ず止まる。重大事故につながるので、決して軽視してはならない。

近年自転車横断帯の減少

横断帯を通らなければならない法律があったが、「車道が原則」に基づいて減少している。

## (6)五則の5

「子どもはヘルメットを着用」

- ・保護責任者は、幼児・児童にヘルメットをかぶらせるよう努めなければならない。
- ・頭部の損傷を防ぐ意味で非常に効果があるので大切である。

## (7)その他

- ・傘差し運転・携帯電話使用運転・イヤホン等使用運転の禁止。

## 4. 自転車事故で問われる責任

自転車事故の当事者責任... 責任は自動車事故と同じ

- ・9000万円台の賠償が命じられた例もある。
- ・医師、教師、調理師など免許を必要とする職業は、交通事故や違反で刑罰を受けることとなった場合、免許や資格が与えられなかったり、失職したりすることがある。人生設計や、将来の夢が一瞬にして崩れてしまう場合がある。

自転車で事故を起こしたときの義務

- ・交通事故を起こした当事者には、道路交通法により救護措置、危険防止措置、警察への報告義務がある。警察への報告がない(義務を怠る)場合はひき逃げとなる可能性がある。
- ・交通事故の“被害に遭った”場合も、その場で即警察を呼び、学校に連絡することを繰り返し伝えていただきたい。

## 5. 自転車事故と保険

### (1)自転車保険の種類

- ・傷害保険だけでなく、個人賠償責任保険には必ず入っておくこと。

・最初に自動車保険・火災保険等の特約を確認すること。現在、コンビニなどでも自転車保険を扱っている。

・TSマーク付帯保険は、乗った人が誰であっても、自転車にかけられている保険である。

TSマーク付帯保険・・・自転車点検整備を受けた日から1年間有効な傷害保険と賠償責任保険がついている。更新する場合は、自転車安全整備士のいる自転車店で再度点検を受ける。

## (2)ハインリッヒの法則

・死亡事故など重大事故が1件発生する過程において、それ以前に小さな事故が29件発生していた。さらに調べてみると、ヒヤッしたりハッしたりしたことが300件発生していた。

・例えば雨の日に10分早く出るなどして、ヒヤッしたりハッとするをなくすことによって300を150にすれば、重大事故は半減する。だから余裕を持って行動し、いつでも交通ルール・マナーを守ることを伝えていただきたい。

## 6. さらに交通事故防止のために

### (1)反射材

・効果があることを理解させること。

・配って終わりではなく、その場で靴等に貼付する。

### (2)内輪差

・車が曲がる時の内輪差による巻き込み事故に注意する。

### (3)スマートフォンを見ながら運転することの危険性

・非注意性盲。...「見えているが認識出来ない」状況。

・脳が処理できる情報量には限界があり、一つのことに意識を向けると、それ以外の近く情報が鈍感になるために起こる。

・イヤホンをして携帯電話を操作しながら赤信号で交差点に入った死亡事故の例もある。

### (4)安全教育の5つの方法原理

・故吉田瑩一郎氏(日本体育大学名誉教授)が提唱

一回性の原理:一瞬の事故で命を落とすことがあること、一度の違反・事故で自分の夢や人生設計に大きな影響を与えることがあることを認識させる。

危険予測の原理:「もしかして」という、予測する意識を子どもたちに持たせる。

自己統制の原理:自分をコントロールできる力を持たせる。

生活習慣確立の原理:生活習慣の乱れは非行につながる。交通安全母の会が提唱した「交通安全は家庭から」というスローガンは非常に重要である。家庭の中で日常的に交通安全について話すことが非常に大切だと思う。

地域性の原理:都市中心部で暮らしている子どもと、郊外の子どもの全く違う。住んでいる地域の実情にあった交通安全教育をしなければならない。

### (5)まとめ

・家庭における生活習慣の確立が大切なポイント。また、テレビ等で交通事故が報じられた時、身近なこととして常に話題になるような家庭が多くなることが望まれる。

- ・交通安全教育は命の教育。「人生一度、命はひとつ」が根本である。
- ・皆さんが日々取り組んでいる活動は命を守ることに繋がる重要で、とても大切な活動であることを再認識していただき、引き続きご尽力いただきたい。心からエールを送りたい。

【質問】

自転車の交通安全教育において、規則の歴史や、道路交通法の施行があり、交通安全が成り立っているのだと思いました。愛媛県のヘルメット着用義務化とても素晴らしいと思いました。自転車を「運転する」という意識づけをどのようにしたらいいか教えてもらいたいです。

【回答】

「自転車を運転する」という意識づけですが、まず、道路交通法上の自転車の位置づけ(「軽車両」であること)を確認させること、また、対歩行者事故では自転車側が加害者になり得ることに気付かせる必要があります。さらに事故を起こした時の賠償が自動車の場合と同じく高額であること、一瞬にして自分の夢、希望が実現できなくなる場合があること等を理解させることです。時には、実際の事故事例等も交え、「自転車の加害事故が身近に起こり得る」ことを理解させましょう。

まだまだ「自転車事故＝被害事故」といった意識は多くありますが、「自動車事故＝加害事故」と同様に、「自転車事故＝加害事故」といった意識を持ってもらうことが重要で、そのために、自転車は、自動車と同じく、運転するという意識を持つ必要がある乗り物であることを理解させることです。

また、万一事故を起こしてしまった場合に備えて、自動車と同じく保険に入っておく必要があることを理解させることも重要だと思います。

【質問】

亡くなった子供の話、遺族の話とても感動しました。私も交通安全教室等で悲惨な事故を伝えていきたいと考えています。そのような事例を調べられる場などがあれば教えていただきたいです。

【回答】

交通事故遺族の会だけでなく、都道府県警察本部などでも「遺族の手記」を公開しています。インターネットで「交通事故遺族の手記」などのキーワードで検索をかけていただくと、様々なものが参照いただけると思います。

例)平成17年警察白書:

<https://www.npa.go.jp/hakusyo/h17/hakusho/h17/html/G1000002.html>

【質問】

自転車、特に中学生への話し方を聞きたい。

【回答】

一つの方法として、最初に自転車の事故事例から話し始める方法があります(ごく最近のその学校の生徒の事故、その学校の近隣の事例が望ましいです)。単に自転車ルールの解説をするのではなく、なぜルールがそうなっているのか、なぜルールを守らなければならないのかなどを、事故事例等を交えて話すことにより、より理解は高まると思います。

そして、話のポイントは、自転車教育は自動車免許を取得する前に、運転者として最初に受ける安全教育(プレドライバー教育)でもあるので、交通社会にはルールがあることや、事故により一瞬にして自分の夢や希望が実現できなくなる場合があることに気付かせること、等が考えられます。

また改正道路交通法により「自転車運転者講習制度」が施行され、自転車運転中に危険なルール違反(14 種類の危険行為)を繰り返すと、講習の受講が命じられることとなりましたが、その対象は14歳以上であり、中学生も含まれていることを知らしめることも重要です。

いずれにしても、身近で、その中学生の住む地域にあった話をするのが大切だと考えられます。



閉講式・主催者挨拶 / 12月11日(水)11:45～11:55

茅根 弘幸  
(内閣府 政策統括官(共生社会政策担当)付  
交通安全対策担当 参事官補佐)



交通安全指導者養成講座の閉講に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。まずは、3日間にわたる講座、大変お疲れ様でした。

長時間の講座となりましたが、皆様方の真剣かつ熱心に受講されているお姿が大変印象的でした。また、本講座の開催に当たっては、日本全国から大勢の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。主催者を代表して改めて御礼を申し上げます。

本講座では、子供や高齢者の交通安全教育に関する講義、あるいは各地域で活躍されている方々の事例発表など、交通安全指導に必要なプログラムを、限られた時間の中で受講していただきましたが、基礎的理論や実践的手法に関する知識・技能を身に付けることはできましたでしょうか。

交通安全対策というものは、目に見える効果がすぐに現れるものではありませんし、必ずしも成果に結びつくものでもありません。それでも交通事故で悲しい思いをされる方を1人でも少なくするためには、地道に継続的に交通安全思想の普及に努めていくことが大切であると考えております。

閉講式において、当方の参事官から交通事故発生件数や死者数が減少しているとのお話がありましたが、今後、更に交通事故を減少させるためには、やはり、交通安全指導に従事される皆様方の役割というものが非常に重要であると考えております。

皆様方には、本講座を通じて学んでいただいた成果を各地域の交通安全指導の場において遺憾なく発揮していただき、地域における交通安全のリーダーとして御活躍されることを御祈念申し上げます。

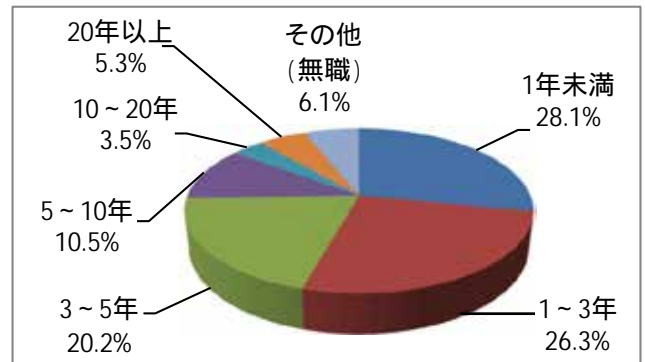
最後になりますが、引き続き、交通安全教育や街頭活動への御支援・御協力を賜りますとともに、今後の皆様方の御健勝・御多幸・そして交通安全を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

3日間、大変お疲れ様でした。

## 4. アンケート集計結果

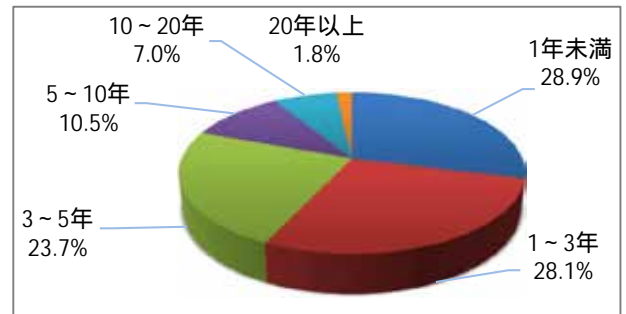
### 1 現在の在職期間をお教えてください。

	人数	割合
1年未満	32	28.1%
1～3年	30	26.3%
3～5年	23	20.2%
5～10年	12	10.5%
10～20年	4	3.5%
20年以上	6	5.3%
その他(無職)	7	6.1%
未記入	0	0.0%
合計	114	100.0%



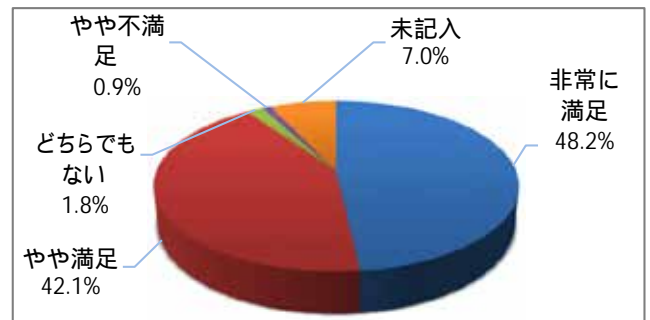
### 2 交通安全業務の経験期間をお教えてください。

	人数	割合
1年未満	33	28.9%
1～3年	32	28.1%
3～5年	27	23.7%
5～10年	12	10.5%
10～20年	8	7.0%
20年以上	2	1.8%
未記入	0	0.0%
合計	114	100.0%



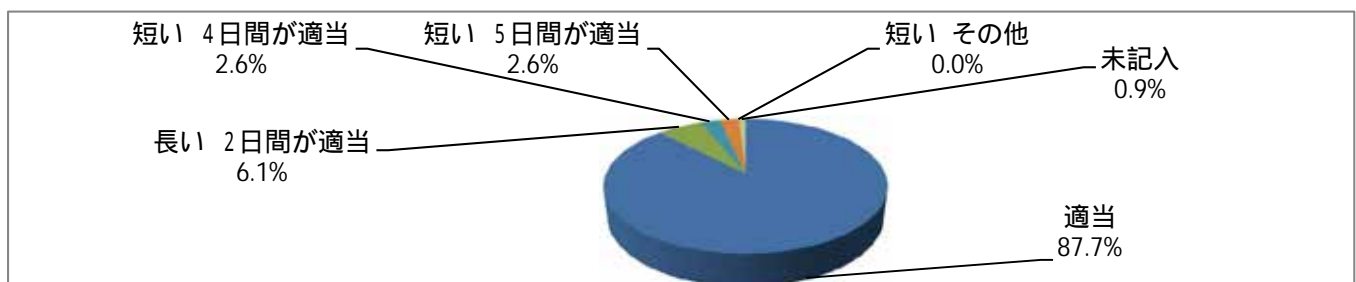
### 3 3日間の講座内容はどうでしたか。

	人数	割合
非常に満足	55	48.2%
やや満足	48	42.1%
どちらでもない	2	1.8%
やや不満足	1	0.9%
不満足	0	0.0%
未記入	8	7.0%
合計	114	100.0%



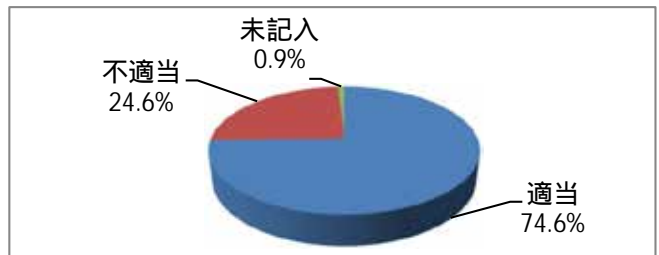
### 4 本講座の開催期間:3日間という日程はいかがでしたか。

	人数	割合
適当	100	87.7%
長い 1日間が適当	0	0.0%
長い 2日間が適当	7	6.1%
長い その他	0	0.0%
短い 4日間が適当	3	2.6%
短い 5日間が適当	3	2.6%
短い その他	0	0.0%
その他	0	0.0%
未記入	1	0.9%
合計	114	100.0%



## 5 本講座の開催時期:12月9日～12月11日という日程はいかがでしたか。

	人数	割合
適当	85	74.6%
不適当	28	24.6%
未記入	1	0.9%
合計	114	100.0%



### < 適当と思われる理由 >

- ・だいたいこの職業を春頃に始めてから総まとめのようなかたちでふりかえりや気づきができる時期だと思ったから。
- ・春、秋は行事が多いので困難。
- ・本講座は適当であるが、更に交通安全指導者として自信を持って職務を行うため、新任交通安全指導者養成講座の新設も必要かと思われる。先輩の指導員が居る所はその人に付いて勉強できるので、所属で1人しかいない人を優先して早期に実施してはいかがか。
- ・1年目であっても、4～12月までの経験を基に参加できるから。
- ・小生の場合、交通指導員を8ヶ月従事しての講座で大変勉強に成りました。自分で体験した事との比較する良い時期だったと思います。
- ・どの時期に設定しても意見が出てくるとは思いますので、何とも言えませんが、11月とかもう少し早い時期でも良かったかと思えます。
- ・講座等の依頼が少ない時期のため。
- ・月末は業務の〆日などがありますが、上旬なので助かりました。週末より、交通機関も混雑が無くて、スムーズに來ることができました。雪などの天候の影響も無くてよかったです。
- ・4月から始めた職で様子も分かってきた頃で、教室も忙しい時期ではないので良かったと思いました。
- ・春から秋にかけては指導員活動の時期あり、年末前の適当な時期と思います。
- ・平日なので、休日よりは良い。混雑しないため。
- ・幼稚園の教室が少ない時期なので良いと思いますが、運動期間は、はずしてほしいです。
- ・年末ではあるが、自治体での研修等が終わり年末年始交通安全旬間が始まる前に、交通安全に取り組む為の意識の再確認と知識の取得という意味で良かったと思料する。
- ・教室開催依頼が一年を通して少ない時なのでよかったです。
- ・初日が月曜日の昼からのため、事前準備がやりやすかったため。
- ・交通事故の多発する師走より少し早い方が良いのではないのでしょうか。
- ・いつでも良いが、春の自転車教室までに学べて良かった。
- ・活動量の谷間だから。
- ・年末ではあるが、自治体での研修等が終わり年末年始交通安全旬間が始まる前に、交通安全に取り組む為の意識の再確認と知識の取得という意味で良かったと思料する。
- ・雪がたくさん降る地域に住んでいますので、積もる前に予定ができて良かった。
- ・交通指導員としての日々の立哨指導以外の定例会出席、各種イベントにおける立哨交通安全教室、自転車免許制度の業務が無い月なので良かった。
- ・今回初めて受講しましたが、できれば気候のいい時期にしてもらえれば助かります。
- ・交通安全業務1年目で、ある程度の期間勤務した状態で知識もそれなりについた段階で受講できたから。
- ・修学旅行生と一緒にあった部分はあったが、12月前半が雪等の天候、試験などに影響もなく良いのではと思う。
- ・交通安全教室の開催が少なくなる時期。
- ・たまたまだったかもしれないが、東京はそんなに寒くもなかったの。11月下旬～12月初旬くらいは仕事が落ち着いている時期なので。
- ・年末にかけて交通事故が増加する傾向のため。
- ・静岡県は12月末に年末の交通安全県民運動があるため、意識向上が望める。
- ・12月は交通安全教室を行っていない為、参加しやすい。
- ・これから就学時前の交通教室があるため、事前に子供への接し方等学ぶことが出来て良かった。
- ・年末のあわただしい日ではないから。
- ・年内の主要工事が終了した時期であり、次年に向けて様々な再確認ができるため。
- ・12月の後半は忙しくなってしまうので、この時期で良かったと思います。
- ・仕事のスケジュールで谷間の時期である事。
- ・月～水は繁忙時期でなく、日程調整が可能、また12月上旬も日程的に出席可能。
- ・この時期交通安全教室もあまりないから。
- ・秋の学校行事がひと段落して落ち着いた頃なのとまだそこまで寒くない時期でインフルエンザなどの影響も出にくい。月、火は宿泊が取りやすい。
- ・他のスケジュールもあるが最優先させた。時期日程は問題なし。
- ・大きな行事が少ない時期だから。
- ・1年のしめくくりの検討の場として。

- ・各講座をじっくり聞けて、討議等もあり充実していたと思います。
- ・年間を通じての自己、会の役割の反省と次年度の計画を検討する機会となれる。
- ・本来なら3月の年度末又は4月が良いが、他の行事と重なるので落ちついて受講できる時が良い。
- ・12月は幼児教室が重ならないタイミングだったので参加できました。2学期、3学期は厳しいと思いました(9月～11月、1月～2月)
- ・どの時期も忙しいが12月9～11日は、行けた。

#### < 不適當と思われる理由 >

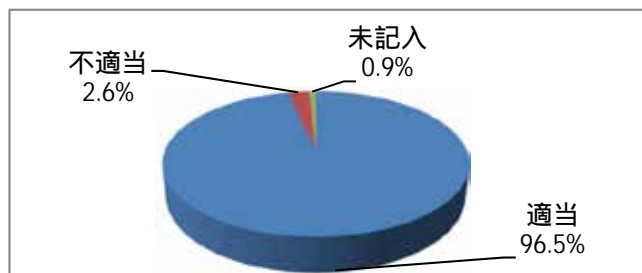
- ・私も高齢になり健康に不安を感じており、気候の良い時期お願いしたい。
- ・東北からとなると、雪で交通機関が動かなくなる場合もあります。
- ・埼玉県で指定された冬の交通事故防止運動の期間と被っている。
- ・12月議会と被っている。
- ・コートが必要ない時期が良い。
- ・できれば水・木・金だとありがたい。(土日が休日のため)
- ・冬の(年末の)交通安全運動前は業務が多忙である。
- ・カゼが流行する時期であり、体調に不安を感じながら参加したから。
- ・雪が降りやすい時期で、雪による交通機関の影響があるため、年度初めの方に受講できれば得た知識をすぐに活用しやすい。
- ・自分の所在地では降雪により、交通に支障が出るため、1ヶ月程早い時期が良い。
- ・師走の慌ただしい時期は外した方が良い。
- ・12月でも良いのですが、工作上、年末のキャンペーンや業務、行事などが多く、できれば7月や11月などが望ましい。
- ・年末・年始の交通安全運動にかかってしまい、地元での業務に支障を来すため。
- ・冬は荷物が多くなるため、着用する服がかさばる。
- ・寒いので11月くらいがよいと思う。
- ・もう少し早い時12月は寒いです。
- ・出来ることであれば(水)～(金)の方が仕事の調整がつけやすい。なお、今回については当市12月議会と重複してしまった。
- ・どちらかと言えば不適當です。自分かってではございますが、この時期は会合会議そして忘年会など行事が重なってしまうので11月の方が良いかも。
- ・12月は何かとバタバタとするので、11月の初旬頃だと助かる。
- ・幼稚園保育園の指導をしている為指導が少ない夏休み期間だとありがたいです。
- ・できればもっと暖かい時期。
- ・安全運動期間前で準備等が重なりバタバタになってしまった。
- ・年末の事故防止運動と日が重なったので、数日ずらしていただくと有難いです。
- ・学校が冬休みの間が良い。3日間の交通誘導が心配。
- ・12月というのは学校などの安全教室があり、それ以外にも新しい年への準備等で忙しい、学校等が休みとなる夏休み期間が適當と思う。
- ・年末よりも夏季あるいは新事業年度にあわせて4月又は5月中下旬の方が良いと思う。あるいは事業計画策定にあわせて10月頃。

#### < 適當と思われる時期(月) >

- |             |      |
|-------------|------|
| ・2月         | 1 件  |
| ・3月         | 2 件  |
| ・4月～5月      | 1 件  |
| ・6月         | 4 件  |
| ・6月～7月      | 1 件  |
| ・7月～8月      | 2 件  |
| ・7月末～8月     | 3 件  |
| ・8月         | 4 件  |
| ・10月        | 6 件  |
| ・11月        | 10 件 |
| ・11月下旬      | 2 件  |
| ・11月～12月    | 2 件  |
| ・12月        | 7 件  |
| ・12月初旬      | 1 件  |
| ・12月25日～1週間 | 1 件  |

## 6 本講座の開催場所:東京都・市ヶ谷駅近くという場所はいかがでしたか。

	人数	割合
適当	110	96.5%
不適当	3	2.6%
未記入	1	0.9%
合計	114	100.0%



### < 適当と思われる理由 >

- ・東京駅からの乗り継ぎがわかりやすかった。
- ・市ヶ谷駅からも近くて便利。
- ・1番こむこともないと思うのでいいと思う。たまには変えていいと思う。
- ・アクセスが良い。
- ・アクセスがよければどこでもいい。
- ・駅からすぐで迷わず来られました。
- ・駅から近い 全国から集まるとしたら適当だと思う。
- ・駅から近く、食事場所も適度だと思います。
- ・駅から近くて交通の便がよかったです。
- ・駅に近いのはいいと思います。東京駅から直通はないですが、隣の有楽町駅から1本なので。
- ・駅の近くで、店等も多いため、休けい1時間の間で外で食事をする事が出来た。
- ・会場場所が駅近でアクセスがしやすく分かりやすかったから。
- ・各路線ルートから、スムーズに来やすいと思います。
- ・関東圏以外の方も行きやすいため。
- ・居住地から交通の便が良い。
- ・交通行政でライフラインが整っていて安全作業員はいらない。飯田橋や市ヶ谷で指導員の立哨実態例を見学したかった。
- ・世間一般的には適当な場所だと思います。私みたいな田舎者にとっては出来るだけ乗り換えの少ない駅をえらんでほしいです。又案内図に駅の出口まで書いていただければ無駄な時間が少なくなると思います。
- ・全国各地から集まるには中心で良かったと思います。
- ・近くに観光地があり、食べる所がたくさんあったから。
- ・東京駅から乗り換え1回で来られたので場所的には良いと思う。ただ東京以外の開催場所も検討いただきたい。
- ・土地勘がないため、どこでも変わらないのかもしれないが、分からない。
- ・都内でののりかえが少なく助かります。(できれば山手線沿線)
- ・日本全国から集まるには、全てにおいて充実している。
- ・路線が多い駅の近くというのは助かります。
- ・わかりやすかったが、乗り継ぎが地方で住んでいる者にはよくわからなかった(友人を呼んで連れてきてもらった)

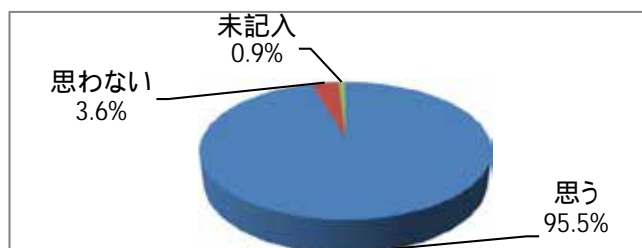
### < 不適当と思われる理由 >

- ・熊本から空路 私鉄 JR乗り替え2回で時間的な余裕が無く、昼食をとる間も無かった。空路で17分早く到着したのに、所定の私鉄を利用し、時間調整を5分×2回とられた為、市ヶ谷駅に着いたのは12時48分だった。
- ・通勤ラッシュの地下鉄はとても辛かったです。全国から来ることを考えると適当なのかもしれませんが...
- ・場所が空港から遠く分かりづらかった。

## 7 本講座で受講した内容を今後活用したいと思いますか。

	人数	割合
思う	106	95.5%
思わない	4	3.6%
未記入	1	0.9%
合計	111	100.0%

重複回答の3件は除外



### < 思うと答えた方、今後どのように活用していきたいとお考えでしょうか。 >

- ・活用では無く、参考には是非したい。交通指導員としての現場での活動には少しそぐわないかも知れない。
- ・日頃行っている交通安全教室のネタとして参考にしたいです。
- ・幼児、児童・高齢者に対する交通教室・講習での話に取り入れたいと思った。
- ・交通安全指導の話し方... 日頃の児童との対話
- ・交通安全教室でより良い印象を与えられるように。
- ・紙芝居... 声の出し方をもっと工夫していきたい。
- ・子供の交通安全教育... 入学説明会で保護者に危険感受性の大切さ、学ぶ機会を奪わないことを伝えたい。

- ・警視庁での講座。新しい教材の作り方を知った。
- ・他の交通指導員へ話して行く。
- ・交通安全教室(現状)では、一年に一回行う(各幼稚園・保育園・学校)中で、いかに子供達が身につける事が出来るのか不安であったので、今回の受講で得た子供の特性や心理・話し方等、色々実践したいと思います。
- ・いきいき運転講座のようなワークショップ形式の講習を少し増やしてみようかなと思った。
- ・紙芝居は講習で活用したいと思いました。
- ・全体的に自分たちが参加できるような内容だと、興味が持てるし、集中できると思ったので、講話の中で取り入れたい。
- ・小学校、幼稚園、保育園での交通安全教室で取り入れて行きたいと思います。
- ・交通指導員の皆に伝えたい。当市からも初めての試みであったので来年からは参加させる。
- ・日頃からも気をつけている部分もあったがあらためて相手の立場にたちながら接していこうと思った。
- ・交通指導教室等の経験はないが、そのような機会があったら勉強したことを活用してみたい。
- ・講話・広報・資料作成に役立てたい。
- ・シニアクラブ連合会を通じて受講した内容を伝えていきたいと思います。シニアクラブ連合会(文化、スポーツ、会議などを通じて)
- ・他県の方の沢山の考えを聞く事もでき、講師の先生のお話しも、日々の交通安全教室に活用していきたいです。
- ・自分達が普段していること以外にも色々知識を取り入れることができた。また自分達がなかなか行くことがない高齢者に対する教室についても学ぶことができた。今度の交通教室に活かしたい。
- ・先生方の話し方、目線をまねしていきたい。
- ・主に幼児と高齢者の教室が多いので話し方、伝え方などとても良い勉強になりました。
- ・子供の心理や視野、指導の仕方等を学ぶことが出来たので、交通教育等に活かしていきたい。またグループワークでは、県外で行っている高齢者の交通事故防止対策を知ることが出来たため、今後の活動にいかしていきたいと思っています。
- ・今行っている内容をすぐに変えるのは難しいので、話し方等すぐに実践できるところからしていきたい。
- ・自分達が行っている教室の内容がマンネリ化しているので、新しいモノを取り入れていきたい。
- ・講座内容が充実しており、自分の担当している安全教育の対象者である、幼保・小・中・高齢者等にそれぞれ当てはまるものばかりであった。出前教室で活用していきたい。
- ・講座の中でとくにロジックツリーやナンバリング等、話し方に関して学ぶ点が多かったので、学んだ内容を取り入れて話していきたいと考えます。
- ・人前で話すことが増えていくので、その心構えと同じ思いで仕事をしている他県の方と話すことが出来て励みになりました。
- ・今後、様々な方に交通安全啓発をしていく上でのポイント等、また他市町村での事例を活用していきたい。
- ・通学路で小学生に対し、交通指導する際、考えさせる指導にしていく。上級生下級生に指導させるなど手法を使っていきたいと思います。また交通安全教室にも同様なツールを使っていきたいと思います。
- ・小学生等の通学時の「立哨」がメインの業務なので、全ての講座が目新しく、機会があればその場で活用したい。
- ・高齢者の交通安全教室において活用。
- ・講習をする際、対象者にあった説明、内容に活用したい。
- ・国土交通省を含め道路行政でインフラ整備の充実に。
- ・人前で話す機会が多いので、話し方、きりこみ方を参考にさせていただきます。
- ・いつも同じ事、同じ内容だったので今回の事を今後生かしたい。
- ・ロジックツリーということを知り、その構成の仕方を念頭に置き、自分の意見を言う時に役立てたい。読書にも多いに役立てたい。
- ・交通安全教育を実施する機会に話し方や指導すべきポイントを活用したいと考えています。また県で安全教育を担当する他の職員にも本講座の還元教養を実施したいです。
- ・効果的な話し方するには、事前に多くの資料を整理して準備しておく事が大切であることを気づかされた。
- ・交通心理学という話をはじめ聞いていたので、とても参考になった。
- ・また警視庁の教材も作ってみたいと思う。
- ・話し方、伝え方について再確認でき、足りなかった点を改善していきたい。年代に応じた効果的な内容検討に活用していきたい。
- ・話し方や、内容など安全教室に大いに生かせる内容だった。
- ・1日目の効果的な話し方や警視庁のデモンストレーションは、現場ですぐに使えるような内容となっていて生かしたいと思った。
- ・幼児教育、保護者への注意と伝えたい内容を色々学べたので早速交通教室や講話で話したいです。
- ・教室で腹話術を用いているので、話し方、ネタ作りに役立てていきたいと思います。
- ・区で行っている交通安全教室、幼保の保護者、熟年者。
- ・ありきたりですが、交通事故の撲滅と地域の安全、主に子ども達が安全に学校へ登校し明るく楽しく笑顔が観れる環境に貢献出来るように頑張りたいと思っています。(明るく笑顔で学べる環境)
- ・それぞれに深く学ぶことができたから。
- ・普段聞くことができない他府県の方々の話も聞くことができ、さらに専門家の講義も受けることができ、とても為になりました。

- ・小学校・幼稚園(保)・地域のイベント・高齢者の集いの場で発揮したいと思います。
- ・現在は登下校の交通指導見守りであるが、今後は、老人クラブ子供クラブ等でも交通ルールの大切さを今回受講した知識を活用して安全につとめたい。
- ・声の出し方(おの先生)のはなしは今後の交通教室でも非常に大切で、特に園児はこれを活用することで自分の話をもっと聞いてくれると思った。
- ・立哨のみ行う指導員としては、大阪国際大学の山口教授による講義により心理状況を考える、知る事を再確認しました。
- ・各県によるとと思いますが、まったく素人の方がたずさわる仕事であると思うので、すぐに使う事ができる(実践できる)ものだったからです。
- ・現在やっている教室等の内容の見直し。
- ・学んだ内容はもちろん活用するが、講演いただいた方に、講演を依頼したいとも思いました。
- ・自分の講習に多く活用し、幅・奥行きを広くし、受講者から楽しんで貰いたい。
- ・交通指導員としての立場で、日頃の立哨活動や交通安全教室での指導に役立てていきたい。
- ・限られた時間内に有効活用したい。
- ・自分が普段話している内容に取り入れていきたいと思った。
- ・近隣で先進性のある生駒市に行政とともに見学に伺いたい。
- ・幼児、小学生の指導に活用したい。
- ・話し方等、交通教室をよりよいものにできるよう、活用したい。
- ・話し方に早速つなげてやっていきたい。
- ・今までの指導方法だけではなく幼児の特性を意識した新しい指導方法を考えていきたい。
- ・自治会、幼児教室など。
- ・自分の中で参考になると思ったことを、今後の安全教育(幼児教育)の場に生かしていきたい。高齢者については専門外ではあるが、周囲にいる高齢者に伝えたい。
- ・人前で話す機会はありませんが、話し方について相手にしっかりと聞いてもらえるような話し方を実施していけたらと思う。
- ・講座の組み立て、話し方等実践で活用していきたいと思いました。
- ・交通安全教室や講習の際に、話し方や教材等を積極的に使いたい。
- ・講話対象者に対してそれぞれ思考整理とロジカルトークを基に効果的に話しをして行くのと良いと考えます。
- ・幼稚園等の交通安全教育に適用したい。
- ・幼児の特性をとらえ、交通教室の構成を再考したい。
- ・地域のコミュニティ単位で分散したカリキュラムで実施したい。
- ・交通安全指導内容をふりかえり、指導法やより効果的な話し方が出来るように工夫したいと思いました。
- ・今回学んだ事を交通安全教室で活かしたい。
- ・各地区の取り組みが参考になった。
- ・企業や自治会向けの交通安全講座の際に、効果的な話し方を実践していくことができればと考えています。
- ・幼児向けに手振り信号をやってみたいと思った。
- ・交通心理学などで、人の心理を活用した講話や、人をひきつける話のしかたなどを活用したい。
- ・現在も行っている交通安全教室の内容充実のために活用したい。
- ・対人との関わり方や交通安全教室での指導手段を学べて、これからの業務に自信を持てそう。
- ・今まで同じような教室を行ってきたので、今回教えていただいた内容を取り入れたい。
- ・交通指導員を指導する際に色々の場面で役に立つ。
- ・今後、毎日明るく子供に接し安心、安全に活かしていきたい。
- ・子どもへの交通指導(見守活動中)を発達度を考えて行いたい。
- ・現段階では活用する機会はないが、必要に応じて活用できたら良いと感じた。
- ・幼、保、小の交通安全教室でとり入れていきたいと思います。講座の配布資料はこれから教室を行う中で使用させていただきます。でも良いのでしょうか？
- ・交通安全教室や日々の登下校指導時。
- ・人と接する時の話し方など、日々の訪問指導で話しをする時、意識していきたい。また、高齢者の運転講座も今後高齢者向けの講座を検討していく上で参考にさせていただきたい。
- ・仲間達とも今回得た情報を共有し、現存の教材や教室進行方法に加えてバージョンアップした内容を目指したい。
- ・十人十色で色んな地方の方の意見を聞いて参考になることが多かったので、教室・講習などで生かしていきたい。
- ・警視庁のデモンストレーションの導入を使いたい。紙芝居の練習も行い、講習で取り入れたい。
- ・講話のときに命の大切さを伝えたいと思う。
- ・保育園・小学校での交通教室を行うとき、どの講座もとても有意義なものになりました。
- ・教室を展開していく上で、どんなことにポイントをおくといいのか、考えるきっかけになった。具体的にわかりやすく、すぐ活用できると思った。
- ・効果的に話す、目の視点法等、藤原先生の「交通安全指導における効果的な話し方」は今後十分生かしていきたい。

< 思わないと答えた方、その理由は？ >

活用する機会がない	4
講義の内容が理解できなかった	1
活用するほどの内容がない	0
その他	1

8 本講座を受講して、意識に変化はありましたか。

	人数	割合
大きな変化があった	49	43.0%
少し変化があった	54	47.4%
変化はなかった	8	7.0%
未記入	3	2.6%
合計	114	100.0%



< 「大きな変化があった」「少し変化があった」と回答された方、具体的にどのような変化でしょうか。 >

「変化がなかった」と回答された方全員、具体的な内容は未記入でした。

- ・より前向にとり組んでみたくなりました。
- ・より一層、交通事故を無くしていくために頑張らなければいけないと思った。
- ・幼児の交通安全啓発に道具を使うことに大きな効果があることを知った。紙芝居・腹話術・人形を使い、声の使い分けの仕方なども教わり、多くの使い分けができる事を知った。講師の先生の声の大きさ、使い分けが素晴らしいと思った。2日目の討論会で、南は佐賀県、北は秋田県の人と接することが出来、そういう機会を与えられて、感動しています。それぞれの方々の活動の仕方を聞き、自分の仕事に役立てたいと思いました。
- ・幼児～高齢者、ドライバーに対して対象者が幅広いため、それぞれに対して対応ができるように。
- ・幼児・小学校低学年の行動特性や高齢者に対する対応の方法などが学べたし、理解できる所もあったので。
- ・山口先生の子供の特性についての話は非常に興味深かった。授業で交通安全教室をしても実際にはそのとおり行動していないということ等、今後の教室の中で考えなければいけないと思った。
- ・山口先生の後継者をたくさん増やし日本に広めるべきだと思います。
- ・やっている事はみなさん少しずつちがっても感じている事は共感でき、悩みや迷いを発言しあえたのはうれしかった。
- ・皆さんの地域の特徴や教室の様子が伺えたのと自分の地域の特徴を再認識しました。また伝えるために大切なこと(私的)の基本、根本に気付かされました。学ぶ機会、危険を感じて学ぶ機会についても考えさせられました。
- ・周りのみなさんの意識の高さに刺激を受けました。方法は違って目指す先は「命の大切さ・命を守る」という同じ所なので、すぐにできることは早速取り入れようと思いました。
- ・毎日の旗振りだけではなく。
- ・ぼやっと理解していた部分が明確になりました。
- ・普段の自分の運転をふる返ることが出来、改めて気付く事があった。
- ・ふだん研修に参加できないことがないので、同じ活動をしている方々のお話を聞いて、アイデアをいただいた。マンネリしていた教室に、取り入れられそうなアイデアもあり、気持ちも前向きになった。
- ・藤原先生の一言、指導者の一言は「人の人生を左右する」
- ・能力と意欲の差、タスク(やるべきこと、やってもらうこと)などいろいろ勉強になりました。
- ・日々の活動のなかで感じていた疑問等について、全国の交通安全活動に関係した方々の情報を得る事により、新しい視点を持った言動及び活動意欲が湧いて来た様に思える。
- ・話の幅が広げられそう。
- ・話し方については相手の目の中心を見る。間のとり方。
- ・話し方、子供達や高齢者の心理がわかった。
- ・何げなく行ってきた交通安全にしっかりした知識が得られ、子供たちや高齢者に対する話し方、伝え方が参考になった。
- ・特に話し方、話しの組み立て方など、すぐ生かせるものだった。
- ・特にいきいき運転講座で思ったのですが、自分ではできていると思っていたことも客観的にかえりみると全くできていないかも?と思い直すきっかけになりました。
- ・常々自分の交通安全意識は高いと思ってたが、受講後はより高まったと思います。
- ・地域によってやり方は色々ですが、でも皆さん「交通事故ゼロ、安心安全な街づくり」という意識は同じなので、色々な方の意見が聞いて良かった。
- ・地域だけでは知り得ない事があり、全県その他県の方との情報交換で知識と視野が広がりました。
- ・地域差、都市部・地方部によって、それぞれの事情があり、難しい点を感じた。そのことを踏まえながらより良い活動につなげたい。
- ・他府県の話や聞くなかで、地域によって全く違う状況があり、それぞれ問題をかかえている事や自分の市でも活用できるような良い内容の教室なりと、幅広い話が聞けたので、自分の考えにも幅が広がった。
- ・他の人の意見を聞くことで自分が気がつかないことを考えること、知ることができた。

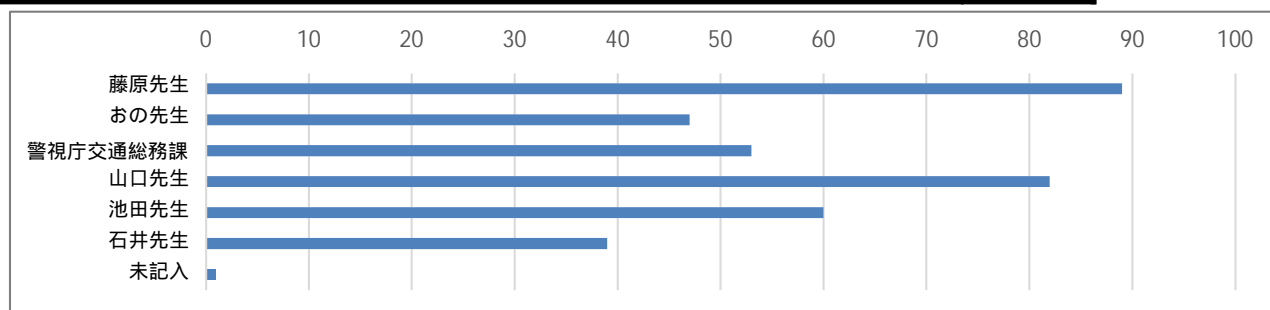


- ・他の自治体の取り組みが聞けてとても参考になった。
- ・他の自治体の方々の話を聞いて、無いものを求めるよりも今あるもので良くしていくことが大切だと思った。指導員だから教えなくては！という気持ちがなくなった。
- ・ただ去年と同じ事をやるのではなく、その時、対象にあわせた取組を行うべきだと実感した。
- ・他県の指導員の方と意見交換をすることで自身では気づきえなかった点などを知ることができた。
- ・他県の方の体制や実態に見習いたい点、参考にさせていただきたい点があった。
- ・他県の方の意見なども聞く機会もあったり、自分の考えにはない事など吸収して実践してみたいと思いました。
- ・他県の方々も、日々やりがいをもってお仕事されているので、ほこりもち、仕事にうちこみたいと思いました。
- ・多角的に柱(議題)が設定されていた為、どれも興味深いもので、なおかつ実践に直結できそうだと感じた。
- ・全国に多くの方が交通安全教室等の対策に従事していることがわかりました。
- ・自分の子供に対する交通安全の教育。
- ・自分での知識と今回の受講した知識は少し差があったと思った。
- ・自分自身の交通ルールやマナーに対しての再確認となった。ふだん何気なく運転していたが、もっとしっかりしなければいけないと思った。街頭指導する上での子どもの目線などの再確認できた。
- ・自分が伝えている交通安全の事には、大きな意味があると自負した。
- ・指導者としての自覚を、新たにした。
- ・仕事に対する向上心がさらに出ました。
- ・参加する方が“意欲的に参加頂くために”という視点を持つことができた。
- ・参加者が全国的で仕事の内容もまちまち、年齢層も豊か男女といろいろな事例や経験を聴けた。
- ・更に工夫する必要性を感じた。
- ・これまで交通安全について講話等を通じてお話しをしていましたが、再度基本を確認する事ができました。
- ・交通安全の実現に向けた思いを新たにすることができた。全国的に様々な指導者があり、同じ目標に向かって活動していることに勇気付けられました。
- ・この仕事を始めて7か月で、人前に立つと緊張して思うように話が出来ない事が多かったので、講座に参加にした事で自信がつかました。
- ・この講座を得た知識を活用してよりよい交通安全教育を行っていかないといけないと思いました。
- ・子供目線の交通教育も考えていこうと思った。
- ・子どもの発達を理解しないとやっていることが無意味なものになってしまう。
- ・子供の身体的な事が自分達(大人)と見え方など違うことがわかった。
- ・交通を指導する人として、相手へのアプローチの仕方、そしてより指導者として自分も交通ルールやマナーを守り、学びをおこたらず自分を磨いていきたいなと思った。
- ・交通指導員になって4年。気持ちにも慣れがあった今、どの講座も初心に戻ることができました。
- ・交通指導員としての業務を再認識させられた。
- ・交通安全は他人事でなく全ての人が安全意識を持つ事が大切であると感じた。それには毎日の積み重ねが大事で、指導者・受講者とも日々の生活の中でいかに気づかせるか、それが出来るかが問われると思う。
- ・交通安全教育に対して熱意をもっている方に沢山出会うことが出来、刺激を受けました。ありがとうございました。
- ・講習方法にもう少し手を加えて内容の濃いものにしていきたいと思います。
- ・講習には携わっていませんが、今後現場に立つ時の注意の仕方など、こうしよう、ああしよう考えるきっかけになりました。
- ・講習会等で講師としてレクチャーする場合に事前準備のツールとしてロジックツリーの利用、話す時の心得など漠然と考えていたことを具体的に明らかにしてもらい意を強くしました。また児童生徒の心理学的分析を参考に通学路の交通指導をしていければ交通事故防止に資するのではないかと思います。
- ・講師の方々の専門的なお話しが大変参考になりました。
- ・講座を受講して、指導する点で表情の印象管理や伝えたい内容を論理的に話すことにまで意識が行き届いていなかった為、「伝える」ということを更に深く手法を学ぶことができたから。
- ・講座を受ける前は一方的な話し方で、相手に伝わっていなかった。興味を持たせながらテンポ良い指導を旨とする。
- ・講座の中で話されていた事を多少自分でも講習でやっていた。残りの分について講習でやっていきたい。
- ・講座内容を利用していきたい。
- ・現在2名体制で、交通指導員の先輩がいるのですが、何かあった時に(体調不良や行事など)安心して任せてもらえるように、知識と経験と技能を積んでいくしかないと思いました。
- ・警察行政、学校、PTA自治会との連携を図りながら交通事故ゼロを目指す活動を根付かせたい。
- ・グループ討論において、他の自治体の交通安全教育の取組について知ることが出来た。自分の地区が研修、指導員者数など、とても恵まれていることが分かった。また、皆さん同じような悩みを持ち、日々創意工夫されていることに共感を憶えた。
- ・グループ討議の中で他市町の交通指導員、交通教育指導員等立場は少し違っておりましたが、それぞれの取り組みや課題等聞くことができ刺激された。自分にもまだまだやれることはあると気付かされた。
- ・グループ討議で、自分達がやった事のない事、他の地域のやり方などを、今後自分たちができる範囲で行いたい。
- ・具体的な話ができそう。
- ・教室で同じような内容をしているが、言いまわしが違うと新しいことばになるという発見があり、マンネリ化を解消できるかなと感じました。

- ・考える・指導する側が交通安全についての知識を持っていないと、受講者は不満に感じるのかもしれないので、これから知識を蓄えていきたいです。
- ・各地域の皆様の発表・意見・課題・問題点を聞いて心を動かされました。特に柏市の関様の発表はすごく自分の意識に変化があったと思います。悲惨な事故を起こさない為に何が必須アイテムなのかすごく考えさせられました。私の今後の課題になったと思います。
- ・抱えていた問題・不安の解消になった。
- ・色々な手法を学んだ！紙芝居はドレミファソラシドの声の出し方等。
- ・今までは仕事として教室を行ってきたが、今後は命とは自分で守るんだということを強く伝えたいと思う。
- ・今までは交通安全啓発といっても受講者や啓発する人の特徴や効果的な手法を活かしきれていなかったため、今後に向けて意識の変化につながった。
- ・今までできないと思うこともたくさんあったが今回の講座で新たな手法も挑戦していこうと思った。
- ・今まで知らなかったことが分かったので有効活用したい。
- ・いつもしている事でちょっとした工夫でより良くなるんだと気づく事ができた。
- ・一番心に残ったのは山口先生の子供の交通安全教育についてです。子供の特性と先生は云いますが、子供にいくら説明をしても受け入れてもらえない事が多々ありました。説明の方法が無いのかと思いました。今後は子供の特性の上になんかついていきたいと思いました。
- ・安全教育・講習の重要さが理解できた。
- ・交通安全教室等での講話の内容や話し方が今まで一定になってきていたが、他の県の話の聞いたり、講師の方の話の聞くことによって、講話の内容の工夫の仕方等を学ぶことが出来た。交通安全教室に対する意識が変わった。
- ・10年以上やっているのでも、マンネリになりつつあるが、今回講座で知識をえて、また参加者の方に刺激を貰ったことでもう一度初心に帰ってがんばりたいと思った。
- ・もっと参加のものを取り入れようと思った。
- ・着ぐるみの声役等もやるので、ドレミ... の音程の話の参考にしようと思う。
- ・話の仕方は言葉だけでなく行動も大切だと感じた。
- ・自分が伝えたいという気持ちも大事だが、相手の立場になって考えて接しないと相手に不快な気持ちを与えることもあると知った。
- ・現在行っている安全教室に対する改善点に気づけた。
- ・日常生活の中で、広く交通安全について考える必要があると感じた。
- ・紙芝居の演じ方を自分なりに解釈していたが、もっと工夫できる部分が色々あると思えたこと。
- ・自転車は利用するのではなく運転するものであるという意識を持つ。
- ・「話し方」についてもっと丁寧にしようと思った。お客さんや交通安全教室の時に子どもに対してのしゃべり方、高齢者に対しての言葉遣いに気をつけようと思った。普段の生活から気をつけていこうと思った。

9 どの講義が役に立ちましたか。(複数回答可) \* 敬称略

講義名	人数
交通安全指導における効果的な話し方(藤原徳子)	89
紙芝居の演じ方(おのいづみ)	47
交通安全教育デモンストレーション(警視庁交通総務課安全教育係)	53
子供の交通安全教育について(山口直範)	82
いきいき運転講座(池田佳代)	60
自動車の交通安全教育について(石井征之)	39
未記入	1
合計	371



## 10 具体的にどんな点が役に立ちましたか。感想等ご自由にご記入ください。

- ・どれもすぐに実践できる講義である。教材の作り方などもっと教えてもらえると良い。
- ・「いきいき運転講座」では、自分で物事を考える時間があり、身に役立った。
- ・「子供の交通安全教育について」発達心理学の観点から交通行動を理解できた。交通安全のための対策、教育、講習に活用できそうな内容がたくさんあった。
- ・「特に子どもの交通安全教育について」子どもの交通行動をしっかりと理解することが大切であると再認識した。
- ・「いきいき運転講座」脳トレは高齢者の教室で導入し、活用しているが、ワークシートによる講座は正直無理かなと実施まで踏み切れていなかった。高齢者の話し合いや書くという活動は敬遠されると思い込んでいた。進め方がとても参考になった。一方的に話を聞くという座学から参加型にチャレンジしてみようと思った。
- ・「自転車の交通安全教育について」安全教室で話をする際の根拠が明確になった。
- ・意識が高かったこと
- ・伝えることと伝えることについて楽しむことを忘れないで伝えていくこと等
- ・子供の発表と事故の特徴等についても気付かされました。
- ・効果的な話し方は、話材と経験値が大事...。自分は圧倒的に経験値がないので、場数をたくさんふみたいと思います。
- ・紙芝居は演じる事はあっても見る機会はなかったので、上手な間のとりかたと共に見れたのは、いい経験になりました。
- ・私の子供も7歳です。7歳が一番亡くなっている現実がとてもショックでした。親子での確認がとても大事と思いました。
- ・実際にすぐ試すことができる内容ばかりでありがたい。・体験できる内容と知識とバランスが良かった
- ・第一印象の重要性を再確認できた。
- ・子供の特性を踏まえて教育をすることで、より実践的で効果的な安全行動につながることを期待できる。
- ・話し方・感情・気持ちの伝え方・子供の考えていること・見えている世界
- ・話し方では、話の組み立て方が分かった。又話術をみがくのにも多方面から情報(ネタ)を取り入れることの大切さが分かった。また山口先生・池田先生の講習では、子供・高齢者へ対する交通安全教育の接し方が学べた。
- ・ロジックツリーを用いたスピーチトレーニング・危険から遠ざけるばかりの教育をしないこと。
- ・とても参考になり、すぐ実践につなげたい。
- ・1番興味深く、実際とても楽しい講話だった。
- ・内容だけでなく、進め方を含め、よりわかりやすかった。
- ・内容の組み立て方、視線などすぐ生かそうと思った。
- ・着ぐるみ劇をオリジナルで制作しているので劇のふきこみの際の役作り、声の作り方について、とても知りたい内容だった。「ドレミ...」の声わけなど。
- ・ちょっとした手遊びなど、夏休みなどの幼児向け教室に生かせそう。
- ・ものの見方、考え方が変わった。
- ・話し方、伝え方について大変参考になった。相手にどのように伝えたらいいか、伝わりやすいかなど今後の活動にいかしたい。また交通安全教室のあり方、人前で話す時の視線の配り方など学ぶことができ参考となった。
- 紙芝居を演じる機会は今のところないが、子供達への興味をもたせ方などは勉強になった。声だけでキャラクターを表現するのはなかなか難しいことも実感した。
- ・話し方が具体的にわかりやすかった、思考整理の方法はすぐにも応用してみたい 発達心理学
- ・話し方は実際はかなり難しいが、この手法でトライする。
- ・保育園等への教育には大、交通教育は子供たちからですね。
- ・高齢者にとらわれず安全運転はするべし。痛感した。
- ・自転車の安全運転教育を小学4年生に行っているがルールを守らないのは大人達です。もう一度教育することが重要である。
- ・3年半程、交通指導員をやってきましたが、まだまだ人前で話す事に不慣れだったり、文章を作るのがヘタなので、参考になる事は盛りたくさんでした。聞いているだけでは勉強にならないので、どんどん実践していきたいです。
- ・子供の心理・行動に視点をあてている点
- ・まさにこのような教材や説明方法を知りたかった
- ・交通事故を起こした当事者への参考資料となります。高齢者だけでなく、子供達へも使用出来ます。もっと資料がほしいくらいです。
- ・実際の車の行動がいかに自己中心(停止線で止まらない)な人が多いか知らされた。現に活動している朝の横断歩道での指導でも10~20%が自動車は守っていない様である。
- ・「いきいき運転講座」ではビデオでいかに自動車運転者、自転車運転者、歩行者が交通ルールを守っていないこと、もしくは守っていないにもかかわらず実際は守っていると勘違いしていることが判りました。ビデオを試聴してもらうことで、ルールを守る意識の醸成を図れると思いました。
- ・視点の操作、ストローク、ロジカルトーク等、相手を認知する上での話し方や、説得性が増しました。これから自分の実体験も含めて話していきたいと思いました。
- ・導入の方法は、パターンが一緒だったので講座を聞いてとても勉強になりました。腹話術は人形の体を大きく使って手ぶり身ぶりで等身大な男の子らしさが出ていて、すごいなと思いました。
- ・相手あっての仕事なので、接する際の言葉使いがとても学習できました。全て勉強になりました。脳のメカニズム、人の行動の読み方を理解できる事で、次の対応を迷わず出来そうです。

- ・安全教育を行う上での立ち振るまい、表情、言葉、伝え方。 . . . より。
- 子供の視野については幼児の保護者対象に行っているが、更に知識を深めることができ、伝え易くなった。
- ・それぞれの講義全てで気付きや学ぶことがあった。
- ・幼い子への教育に一役
- ・同じ意味のことばでも、言い方を変えると相手の受け取り方は違う。又、表情を変える事により言葉の伝わり方も変わる。元来、人は注意されることを嫌うので、指導するに当たり、上記に注意した方法で実務に活用したい。
- ・各講師ともに話しかけてやらせる内容で、よく理解できました。
- ・紙芝居の先生の抑揚を使った話し方ひきこまれました。いきいき講座は高齢者の方も興味を持って参加してくれると思います。山口先生の親子で歩かせる実験で親子で歩かせる時、一人の時より、お母さんを守りたいと子供が自発的にルールを守り、行動する。気付けさせる事が大事だと思いました。
- ・紙芝居のやり方が良くわかった。
- ・感覚的な注意でなく、具体的な注意をすることで、子供を納得するのでは？子供目線での指導注意を。
- ・経験に裏付けされる自信
- ・現場、実施、指導に対し参考になりました。
- ・効果的な話し方は現場にすぐに使えると思った。保育園児には紙芝居等が効果的であると感じた。全ての講義が明日からの交通教室に活用できると感じました。
- ・効果的な話のやりとりの勉強、紙芝居「コワイロ」言葉の変化など。
- ・講座内容が今までの講座と違い、心理面から話されていた内容も興味深く参考していきたい。
- ・講習を行う際の話し方や講習に活用できる教材についての知識を得ることができたので、これからの講習に役立てたいと思いました。
- ・交通安全指導等の事前準備が大切であり、更にサンドイッチ法での批評はとても参考になった。子供の心理については考えていましたが具体的に例示して頂き非常に参考になりました。
- ・交通指導について、相手にわかりやすく、ていねいに指導することが大切だと感じた。子供たちへの交通安全教育は、まず目から訴えるものを示すことだと教えてもらった。
- ・高齢者教室で高齢者の方々に話をする導入部分、説明などをする時の話の持っていく方、話題などの作成にいろいろ活用が出来そうです。声の高低でキャラクター作りは、とても参考になりました。是非実践したいです。幼児の教室での話し方、信号の説明いろんなやり方があることがわかり良かった。安全教育の5つの方法原理などを活用したい。
- ・高齢者教室の参加者となかなか距離を縮められず、一方的なものになりがちだったが、“主役”として自ら考え、話し合うことで、より効果的な教室が作れると思いました。
- ・高齢者に対しては使う言葉がむずかしいが、老化でなく発達という事を聞き、今後の教室で使えると思った。また実際の子どもの視点とかも見る事ができて大変興味深かった。
- ・講話での話し方や、高齢者・子供に対しての講話の内容に、工夫することができそう。
- ・子ども交通安全教育で山口先生の講話、7才が一善交通事故が多い。眼の発達が十分でないこと等これからも充分生かせると思った。いきいき運転講座は「交通脳トレ」+ビデオを試聴自己の運転を振り返る」等実際にやってみようと思う。
- ・子供の交通教育について考え直す事、取り入れる事がたくさんあった。
- ・子供や保護者に啓発する時、話し方、捉え方一つで印象もずいぶん変わることを具体例でわかりやすく教えていただいたので、今後の指導に役立てたいと思います。
- ・これまで実施していることの不足を確認して、細かな配慮の必要性を感じた。
- ・様々な行政の対応の中で苦悩する交通安全指導員、手さぐりで取り組む人、行政のおざなり関与に悩む人、積極的な行政がリードする交通事故をなくす都市など、今後の活動の道すじが見えて来た気がする。
- ・参加型の教室が良いと思いました。全員を見ているように目線をおくる事。
- ・実際に安全教室を行うときに伝わっていないと感じる時が多くあります。特に保護者の方、高齢者を対象とする場合、伝える内容にばかり意識が向き、伝え方、話し方については疎かになっていた。
- ・実際に講習の時に取り入れられる内容だったから。
- ・指導者としての心もち。
- ・地元を持ち帰り、即取り入れることができる。標識体操などアレンジして使っていきたい。多くの人と交流ができ意見交換もでき大変よかった。
- ・小学校、地域の会合などで安全講話をするさいに、直接役立つ内容ばかりでありがたいです。
- ・心理学や脳トレなど
- ・すべてが役に立つ講義でした。参加出来た事に感謝します。ありがとうございました。
- ・全ての講義においてそれぞれ役に立ちました。話し方や接し方等
- ・説得力のある話は短く。他の県の方達の話聞いて、県によって指導方法が違うことがわかった。
- ・仙台市では、主に幼児・児童教育に力を入れている為、実践できそうな手法や根本となる考え方を学べた。
- ・そうですね～。話し方 相手の言語を使ってオーム返しに話を返す。紙芝居の喜怒哀楽、ドレミファソラシドを意識して読む、変化をつける。あと子供の見える範囲の角度も新発見でした。また道路の向かい側にいる子供にどう声をかけるのがいいのかを学びました。今後の活動にすごく生ると確認しています。
- ・それぞれ違うけどいい勉強になった。
- ・対象者の特性を知ることが効果的な指導につながるとわかった。
- ・対象者の幅が広い為、やはり、話し方には気をつけたい為、学べてよかった。
- ・楽しく夢中になれる興味をひける話し方や演じ方、教材など勉強になった。

- ・チェックした講義はすぐに指導に生かせる内容でとても勉強になりました。全国の指導員の方が集まっている為、どのような指導をしているのか実際見たりする機会があるとより指導に生かせるかなと思いました。また、指導において工夫している点など質疑応答出来る時間が頂きたいです。
- ・直接的に交通安全指導をする機会は殆ど無いが、その少ない機会の中でもどうしたら短い時間で効果的に啓発できるか、また子供の特性や効果的な指導方法について学べたため、今後の啓発等の場面で役に立つと考えたい。
- ・特に「交通安全指導における効果的な話し方」が役に立ちました。日々仕事で「人に何かを伝えるのは難しいな」と思っていたので、話の組み立て方、表情、そして何より日頃からの話材作りが大切だと思いました。今の仕事の内容におごるのではなく、常に電波をはることを、学びつづけること、様々なことに意識したいと思います。の山口先生の話も、具体的に子供についての事例を教えて下さり、「学ぶ機会を奪わない」そして子どもから見る世界を考えつつ、今後の教室作りに生かしたいと思いました。
- ・特に自分の課題でもあった話し方については何をどうしたら伝わるか、呆ずに聞いてもらえるかなど職場に戻ったらすぐに改善して良い教室を行いたいと思いました。
- ・どの講義も交通安全教室を実施するに際して、的確なアドバイスばかりでした。交通安全の意識が高まるよう、微力ながら頑張っていこうと思いました。
- ・どの講義も大変参考になりました。とくに話し方についての内容は、今後役立てていきたい部分が多かったです。
- ・ドレミファソラシド？10音階。1人でも音階を変えれば沢山のキャラクターが出来る。
- ・年代によって言葉をつかいはける。子ども目線になって一緒に考える。聞き手の反応を見ながらどう興味を持ってもらい話すのか基本的なことを見直すいい機会になった。自分も普段気をつけているつもりでも欠けてしまうことも多くあると思うので、初心を忘れずに指導に力を入れていきたいと思う。改めて自分が「命を守ることの大切さ」を伝えている。大事な仕事をしているんだと実感した。
- ・初体験である紙芝居等は参考になりました。山口先生の心理学は確かにと思う事が多々ありました。石井先生の話しを聞いて、自分の仕事は大切な仕事であると再認識しました。
- ・話しかける時の相手の目線や言葉づかい、又1人の時、2~20人ぐらい、20人以上に声掛け時、問の取り方話し方には勉強になりました。これからも良い点をほめ(認め)ながら声かけをして行きたいと思います。
- ・話し方、講習会での進め方
- ・話し方の講義においては相手にわかりやすく伝えるにはどのようにすれば、良いのか、話す力、説得力を高める方法が理解できた。子供の交通安全教室の講義においては、子供の特性を学問の観点から理解でき、それを保護者に対して伝えなければいけないと教えました。
- ・話し方は仕事にも役立つと思いました。子供がいないので(接する機会もない)子供の見る位置や考え方など参考にしました。
- ・人前で話をする時、話す材料をしっかり整えていけば、話せるようになるという事、子供には自分の意志、交通ルールを覚えさせる事。
- ・腹話術は大分の指導員のものしか見たことがなかったので、大変興味深く拝見しました。技術も高く、子どもへの「何故悪いのか」という意識づけの方法も自身の交通講話に引用できると考えました。また、交通心理学の講義は非常に面白かったです。構成もわかりやすく、パワーポイントや動画を活用した理解しやすい講義でした。自転車の安全な走行方法等も知らない事が多数あり、近日12/15に自転車の交通教室を控えているので早速役立て講話に取り込もうと思います。
- ・腹話術を取り入れようと思った。
- ・藤原先生、池田先生の話し方と講話の進め方が大変勉強になりました。このように人に対して歩みよりたいと思いました。
- ・普段携わらない業務が全てであり、交通指導員という業務を再認識させられた。
- ・間の取り方、又高齢者への対応方法
- ・みなさんが実際にされている事や、体験談を聞くことができ、自分の教室に取り入れることができるのが良かったと思いました。幼児教室では自分で考える時間を与えて、自主性を尊重することや、小学生高学年さんにはリーダーとなり責任感をもって下級生に教えるということも取り入れようと思いました。
- ・山口先生の講座資料全部です。
- ・山口先生の話は、とても聞きやすく充実していて好印象でした。発達心理学の観点からの話が大変勉強になりました
- ・幼児や児童(1年生)に講示する場合、私はいつも男性が話す場合と女性が話す場合では女性の方が有利であると思っている。いかつい男が話をするよりは女性の方がやさしくて丁寧で親しみがあると思う。しかし笑顔で丁寧に話をすれば、男性でもなんとかなると思い始めた。
- ・幼稚園・保育園の担当をしているので、子供への話し方・伝え方を今後役立てようと思う。
- ・幼保の保護者へのコメントに自転車の交通安全教育について
- ・両先生は常に自分に受講者の目線をひきつけていたので、飽きがこなかった。
- ・ロジックツリーや子供達が見ている目線は実は下を向いてたなど。
- ・分かりやすく子どもの特性について学ぶことができたので、今後講習で活かしていきたい。

## 11 今後、改善してほしいところ、また改善策があればご記入ください。

- ・私は交通指導員として、日々街頭指導或は交通安全キャンペーンに活動して居ります。できれば、現場活動(街頭)を中心とした全国単位意見交換、情報収集が出来ればと期待して来たのですが。

- ・冷房がききすぎ、外とうがないと、かぜを引きそうになりました。冷房はホテルの人に依頼して、手を触れないようにしたらいいか。
- ・有意義な講話を聞くのも貴重ですが、せっかく各地から集まった機会なので、各々の情報・教材・現況等の交換をする時間が欲しいと強く思います。
- ・ホテルが決まるまで時間がかかりすぎです。
- ・腹話術とっても楽しかったです。見えなかったのが残念でした。(ちょっと座席の方がずれるだけでも見えるかもしれない)
- ・ひととおり講習会を1時という時間でやってみて欲しい。
- ・班グループ学習の時、自己紹介などの手順にもたつきがあり、ロスしてしまったので課題を示してほしい。
- ・初めて指導者養成講座に参加したので改善してほしいところはありませんでした。
- ・人数が多過ぎる。
- ・都道府県、市町村に対し、道路行政担当部署に交通事故をなくす運動本部を置き、交通安全(教育)指導員を養成、活動支援をすすめるようにしてほしい。ごみ担当部署が担当している市があるのには驚いた。
- ・特にありませんが、養成講座の配布資料を事前に送付してもらえれば読みこんだ上で講座を聴講でき、理解が深まると思いました。
- ・昼食(弁当)等の準備できないですか、田舎から出て来て。
- ・地域ごとに状況が違う点を感じましたので、実体験談を聞きたい。もっと事例発表例がほしい。
- ・他の指導員さんも仰っておられましたが、交通教室をどう取り組んでいるのかの発表の場があればと思います。皆さん、持ち帰りたいネタを探していると思うので。
- ・他県の講習に実際に使用している小道具とかネタ等、具体的なことが知りたい。他県の地域紹介等は必要ないと思う。
- ・先生方はマイクを使用しているのですが、均一ではなく聞き取れないところが多く、理解できないところもあった。
- ・せっかく各地から来ていただいているので、交際のやり方や、どんな教材を使用しているのか等、交流する時間があってもいいのかなと感じた。(個人的にも知りたいなと思った)
- ・席次ですが、ペアになる所などあるので、隣りは同性で組んでほしい。グループ討議を、もう少し深い話がしたい...。少し心残りで終了してしまい、残念でした。
- ・スライドが見にくい(前の人しか見えない)スライドの正面の席だとずっと見えない。席も立てないので写真も撮れない。
- ・事例発表は、実際に教材を使うタイプが良いです。指導員は教材が見たいとの意見が多いため。
- ・事例発表を多くした方が良いと思う。
- ・実際に指導を行っている人と道での誘導をメインに行っている方と混在している中でのグループ討議は難しいと思う。実際の指導の教材を見せ合ったり、どのような内容で組み立てているのかという情報交換をできる時間をもっとつくってもらえると今後に活かせると思う。
- ・時期を10月頃にして欲しい。
- ・参加者どうしの交流の場がほしい。
- ・これまでの講習・研修のリレキが、テーマだけでも見れたらいいのかなと思いました。
- ・個人的に思ったのは、受講中に携帯やスマートフォンのカシャカシャとした写真を撮る状況があって、講師に対して失礼なのではないかと思いました。(事務局からマナーモードや電源offと事前に言われていたので)
- ・交通費の書類のところに「往復分の領収書」と表記してもらいたかった。片道の領収書だと思ってしまったため。
- ・交通指導員の仕事内容、実態を個別に把握した内容でのカリキュラムを作成してほしい。形だけの内容ではする必要はないかと思います。
- ・交通安全指導員という仕事内容が様々なので、グループ討議はしにくかった。共通するテーマを決めて話し合うとよかったとおもいました。仕事内容に合わせて参加出来るチームを選べると良かった。
- ・研修会場からホテルまでもっと近場にしてほしい。休憩時間をもう少し長くてもよいかもしれません。
- ・現在、交通指導員をしていることから具体的に教授する講義が欲しい。
- ・結果報告の際、最後時間が余ったみたいなので、発表時間を5分~8分に延ばしてもいいのではないのでしょうか？
- ・グループ討議の部屋の設定を工夫してほしい。となりの班の声がつつめけで集中しづらい。
- ・グループ討議の時にホワイトボードを設置してほしい。意見をまとめる時に個人の紙に書くだけだとまとめにくい。
- ・グループ討議の最初だけ、スタッフの方から説明があるといいなと思いました。
- ・グループ討議の際、ホワイトボードがほしい。書記がいる中で、一人一人メモも取っていたら要所をまとめられない。
- ・グループ討議について。グループ分けの希望がかなわず専門外であったり、漠然としすぎて、討議が深くできず発表になってしまったり、まとまらなかった。前もってテーマを決めておくとか、内容を絞った状態で個々に考えておくといったような準備も必要では。
- ・グループ討議ですが、交通指導員とひとくりに言えど、交通安全教育者と道路での交通指導員では指導の立場が異なるため、会議がたびたび脱線しました。同じ目線で対策を考える事が出来ない為、グループを分ける等の処置を提案します。また、ディスカッションにおいて、問題提起から始めるのはまとまりが悪いように感じました。A~Cのグループを分けたのち、異なる議題でそれぞれ検討したかったです。
- ・切符を往復分購入すべきであれば、きちんと記載してほしい。
- ・紙芝居が交通安全教育で有用なのか、説明もないので、疑問に感じました。今の子どもたちはデジタルネイティブで当たり前のようにインターネットに触れており、動画を活用した教育方法の講義にされる方が時代にあっていないかと感じました。

- ・各講座の時間配分の見直し。
- ・各グループの討論結果発表、5分は短いです。皆さんの熱意は5分に収まらないみたいでした。とても参考になるので、もっと聞きたかったです。
- ・改善と言うが、折角全国から同じような立場の方々が集まっているのだから、2日目終了後とかに懇親の場があって良かったと思った。
- ・会場で昼食がとれるとよかった。(弁当等)
- ・大人数でむずかしいかと思いますが、スライドを全体ははっきりと見えるようにしてほしい。(後ろの席だとスライドの下の所が見えない)前の人の頭で見えない
- ・遠方から来る人の為にももう少し開始時間(初日)を取ってほしい。
- ・運動期間初日にかかってしまっているので、そこだけは日にちをはずしてほしいです。グループ討議時、教室をやっている方とやられていない方をわけた方が良い。
- ・後の方の席に座っていた為画面が見にくい事がありました。見やすい座席の配置ができれば良いと思いました。
- ・今、保育園の園児は英語教育を行っている所が多く、先生はアメリカ人、保育士もほぼ英語を話します。また園児も英語と日本語ですが、園内では全て英語です。小学校3年生以上になるとほぼ授業中は日本語禁止です。今回参加してみるとテーマが古く、また先生方も古い考えで授業をしています。国として国際化に向けた取組が必要だと感じました。
- ・ありません。プラスしかありません。
- ・3日目のグループ討論ですが、6グループのうち半数程、話の初めの時自分が住んでいる所の紹介しているの、5分と限られた中で、その話は無駄と思うので、出来れば司会の方から「そういった話はなしで」という風なことを言ってほしい。例え5分以内に収まる予想した上で自分の地域の話をするのは良いし、その話をして関心を持たせるやり方があるのかもしれない。だが、この5分間の中では必要ないと思う。もったいないと思いました。
- ・2日目 グループ討議中にホワイトボードがあれば助かります。皆、共通のテーマについて各自でメモをとるよりわかりやすく、意思確認が一度で完結できます。3日目 グループ発表の際の質疑応答はその都度やってもらいたい。メモも取れないので質問したいことが流れてしまう。
- ・2日目の昼食について弁当等を手配してもらいたかった。
- ・女性はトイレで列になるため、休憩時間を延ばしたり、トイレの数が多い所を会場に選んでいただけると嬉しいです。
- ・宿泊先を決めていただいたのは助かりましたが、もう少し会場と近くだとよかったです。
- ・集団討論を始める際にもう少し説明してほしい。
- ・グループ討議のときに書記の方が記入して皆で見られるようにホワイトボードがあると良い。

## 12 講師への質問等がありましたら、ご記入ください。(複数記入可)

藤原 徳子先生へ

(講座名:交通安全指導における効果的な話し方)

- ・大変聞き取りやすく、分かりやすい内容でした。指導員としての心構え、人としての人格、振舞い等、常に指導者としてしっかり身につけていきたいと思えます。
- ・ロジックツリーを用いたトレーニングの量をもっと多くして欲しかった。
- ・パワーポイントの内容を印刷してもらえたら、先生の話しを聞けたと思う。メモの時間に費やされ、先生の話をお聞きすることがおろそかになった。
- ・全体的に向ける話し方など、とても参考になった。
- ・事前準備、話材を見つけ、3本立てをし、ロジックツリーを用いたスピーチ・トレーニングを実践します。日頃から、丁寧な言葉使いを身につけます。
- ・相手に話をするには、テーマを決め最初に属性、次に属性について話し、最後に属性に対する見解でしめることでスムーズに話せるようにする。ロジカルトークを実践し、作成してみようと思いました。
- ・話をする時の心得が印象に残りました。幼児さんにも高齢の方にも言葉遣いは一貫すること、正しい言葉で柔らかく1人の人として接することが大切ということ意識していこうと思いました。
- ・とても参考になりました。日頃、相手に合わせた話し方を意識しておりますが、先生の講話を聞いて、よし！！と思えるところもありましたが、先生のようにお話しが出来るよう、人をひきつける話し方、内容を考えていきたいと感じました。
- ・相手に話をする時、目を見るのではなく目と目の間(ミケン)あたりを見て話す。
- ・何回か講座を受けさせて頂いております。毎回、とても勉強になります。
- ・場数をふんでもなかなか人前でうまく話せません！小学校で行う「交通安全感謝の会」で1年生～6年生全学年に分かってもらえる話をうまく選べません。毎年悩みです…。
- ・講義の組み立て方「ロジックツリー」はすぐ活用したいと思いました。
- ・表情・声のトーン・大きさ・しぐさひとつで相手への印象が変わる。分かっていたつもりでも改めて気づかされたことが多く、伝えきれていなかった部分もあったと反省。大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・人前で話す機会が増えてきたので、とてもためになりました。今後に生かします。
- ・最初に結論ありきのロジックツリーは、自転車の安全利用について等、少し込み入ったテーマではむずかしいように思った。おすすめする観光地等簡単なテーマについては有効に思った。
- ・分かりやすく聞きやすかった。話し方で印象が変わるが、良く分かった。

## おの いづみ先生へ

### (講座名:紙芝居の演じ方)

- ・お1人で何役も表現を変えられるテクニックに圧倒されました。とても勉強になりました。
- ・紙芝居はなかなか使用する機会が少なかったので、声の音調の違いやキャラクターの使い分け等とても勉強になりました。
- ・プロの演者による「喜怒哀楽」等を盛り込んだ演じ方がとても素晴らしかった。
- ・演じ方が大変上手で、キャリアを感じます。
- ・声色など、とても参考になった。
- ・演じる前に必ず下読みをし、登場人物の気持ちをつかみ、喜怒哀楽・高低緩急・強弱明暗を使い分けられるよう努力します。ドラマが変わる際の間を3~4秒置くことと、紙芝居を抜く際、場面に合わせサッと抜いたり、カタカタしたり表現します。
- ・大変勉強になりましたが、私の勤務している「所」には紙芝居ではなくDVDを使っていますが、話をする際に「喜・怒・哀・楽」は大切なことなので、練習します。おの先生にお願いします。「今、子供は虫取りをする子は少ないです。又、かぶと虫はほぼ取れません。現代に合った題材、紙芝居をお願いします。」(今の子供は「パプリカ」という歌が好きです。)
- ・声音を変える必要はなく、音階で人を演じ分けるということを初めて知りました。紙芝居をする機会がきたら、目読してからよく練習しようと思いました。一枚ずつ抜くというだけでなく、カタカタ動かしたり場面に合わせた動きもリアルで印象に残りました。枠も必要だと思いました。
- ・紙芝居は、我々も教室で取り入れております。今まで感じて伝え続けてきたやり方で大丈夫なんだ！と確信しました。ただ、先生の紙芝居が古い感じがしたので、時代に合わせる部分も必要だと思いました。
- ・演じる人は役者になる。喜怒哀楽、強弱等、感情を込める。結果的に人に読んであげる前に物語の内容をよく理解することが重要。
- ・子供をひきつける紙芝居。もう少し大きいとよく見えるのですが、席が一番後ろだったのでよく見えませんでした。
- ・名古屋はあまり紙芝居をやらないのですが、人形劇をやる時なんか参考に演じ方を学ばせて頂きました。
- ・子供達への安全教育のツールとして大変役立つ手法だと思いました。演じる人により広がりのあるすばらしいものと改めて感動しました。
- ・初任科の時に授業で制作しました悪魔くんを組み込んだ紙芝居が交通総務課で採用され、それを期に紙芝居利用の安全教育をしておりました。その後仕事を離れ20数年たち現在再び幼児教育に携わる機会をいただきました。(今年の4月より)紙芝居は今の子どもたちには合わないという理由で、あるのに全く使用されていません。今回の講義を受け、それは伝え次第ということがよく分かりました。いつか復活させたいと思います。ありがとうございました。
- ・交通安全活動とは別に、小学校で月に1回朝の読み聞かせをしていますので、紙芝居を取り入れてみたいと思います。もちろん、交通安全ネタも。
- ・なかなか声類が出さないのが難しいかな
- ・一人で楽しむことが前提とおっしゃいますが、一人で演じるのは声、間、ぬくは大変ですね。毎日毎日の練習の積み重ねが必要でむずかしいと思いました。右右を見て、左を見ての歌はすごくよかったです。
- ・話し方、言葉遣いが本当に子供達が楽しくなる様でした。
- ・ググッと話に引き込まれました。すごかったです。紙芝居をしたことが2度あり、自分なりに声をかえ、抑揚をつけたつもりでしたが、まだまだでした。下読みの大切さと登場人物の気持ちをつかむことも大切なんだと学ばせてもらいました。
- ・楽しく学ぶことができた1時間であった。紙芝居を使っただけの講習も取り入れていきたいと思った。替え歌も楽しくてよかったと思う。
- ・いつも指導をする際に声の抑揚についてはよく迷うところがあった為、すごく勉強になりました。
- ・紙芝居を見たのは初めて、すごく頭をガーンと打たれた感じ、あまりにうまさぎて話の内容は何を言ったのかは頭に残っていない。ただただすごいという感じ
- ・紙芝居を使う機会は今のところ無いですが、今後別の機会でも声色を変えてキャラクターを変える方法はとても勉強になりました。

## 警視庁交通総務課安全教育係へ

### (講座名:交通安全教育デモンストレーション)

- ・声の出し方、間の取り方はさすがです。取り入れて落ち着いて取り組んでいきたいです。
- ・埼玉県警による同様のデモンストレーションを以前受けたことがあった。今回の講習は内容量が多く、1時間としては消化しきれないところがあった。
- ・実践的で非常に参考になった。
- ・いろいろな教室のあり方を学べた。
- ・チームワークも良く楽しく学ばせていただきました。貴重な体験をさせていただきました。
- ・昔から腹話術が苦手で、はずかしいと思ってしまい逃げていましたが、デモンストレーションを拝見させて頂き、堂々とやるということが大事だなあと感じました。
- ・パワーポイントで説明した「DVD」を配布して下さい。



- ・腹話術はする方によって全く違う雰囲気になるのだなと思いました。お子さんと同じ位の背丈で共感しやすい事も初めて知りました。教材を使って視覚でぱっと見て分かるのも飽きずにインパクトに残って良い方法だと改めて思いました。
- ・腹話術は古くさいと思いました。標識を使って、口に出し、手を使う参加型はとても良いと思い、高齢者教室に取り入れようと思いました。
- ・腹話術が上手だった。講習会等あれば参加してみたい。
- ・腹話術、高齢者も子供もとても喜びます。席が後ろだったので座っての腹話術は全く見えませんでした。人数が多い時は立ってもらった方がみんな見えると思います。
- ・腹話術が上手すぎて、感動しました。席が一番後ろだったのが残念です！
- ・今年の4月より20数年ぶりに安全教育に携る機会をいただきました。表情・伝え方、自信を持って張りのある声で堂々と...。全てが参考になりました。ありがとうございました。
- ・具体的な例がいくつもあり、とても参考になります。
- ・子供から高齢者に向けて、広い範囲で興味のある交通安全教育の手法を教えてもらった。地域に促した手法で、参考に実施したい。
- ・お疲れ様でした。日々の鍛錬恐れ入ります。
- ・工作物はこの場では無理です。用意された物で説明が聞きたい。
- ・おまわりさん、腹話術は見事でした。オモシロ信号機の作り方はむずかしくないので作って、やって見せたいと思います。
- ・ひと通り小学生向けに講話を見てみたい。
- ・保育園等に教育活動の提案してみたい。
- ・園児室が大変熱心に！見てくれそうな
- ・導入の仕方や楽しみながら参加できたので良かったです。
- ・体操など参加型で楽しく聞くことができた。この会場での工作は上手くできない。持ち帰り作った方がよいのではないか。
- ・幼稚園、保育園で使える指導法を沢山教えて頂き何より勉強になった講座でした。自分も色々な方法を試し、子ども達を飽きさせずに指導できるといいなと思いました。
- ・久しぶりにすごい腹話術を見ました。話手のけんちゃんとの会話の量のバランスに感銘。あれだけゆっくり話をすれば理解しやすい。
- ・実践的な交通安全教育を見せて頂き、お手製の信号機やクイズだけでなく、子供達の集中力をつけさせるための体操の実施などとても勉強になりました。本市の幼児教育でも活かしていきたいと感じました。
- ・かんたんオモシロ信号機の作り方を話されていたが、少し分かりにくかったです。
- ・「手をあげて横断歩道を渡ろう」ということに少し疑問が残りました。また牛乳パックを使用した簡易の資料を作成したかったです。

## 山口 直範先生へ

### (講座名:子供の交通安全教育について)

- ・非常に分かりやすかったです。幼児教室でこれらのことをしっかり理解した上で、保護者に対しての指導を強化したいと思います。
- ・児童心理に基づく交通安全教育の取り組み方は、未知の領域であり新鮮だった。
- ・子供の特性が分かり非常に勉強になった。
- ・自分で考える領域を残しておくという点は、年齢に関わらず教室を展開していく上で、とても大切なことだと気付けた。一方的になりがちであったので、今後に活かしていきたい。
- ・目から鱗で大変勉強させていただきました。
- ・子供の発達過程で、視線が下向きや視野が狭い特性が分かりました。顔だけでなく、おへそで車がこないあるいは停車していることを確認することを教えていきます。
- ・大変参考になりました。今後の指導に当たる際は、子供の目線で見ます。また大人には同じ指導をします。
- ・目から入ってくる情報が有効であることがよく分かりました。海外の情報も知らないことが多く、日本と比べることができて新鮮でした。山口先生のお話の仕方が上手でとても聞き入りました。分かりやすくおもしろい講座でした。
- ・関西弁での講話は親しみやすく、楽しかったです。(私は岐阜県ですが...)子どもの性態がよく分かりました。自分しかいない、任されることで力を発揮できることが分かりました。教室に活かそうと思います。
- ・子供達の視界がこんなに狭いとは知らなかった。確かに子供は自己中心的であり、高齢者が子供に戻るという点では高齢者 = 子供。
- ・先生の本買わせて頂きました。
- ・山口先生のように笑いを入れながら保護者に話せたら、交通安全に対する意識が上がるのになぁ... としみじみ思いました！楽しい講話ありがとうございました。
- ・日常の安全教室で、幼児の保護者対象に子供の視野について伝えております。講義を受け、知識を深めることが出来、より伝え易くなりました。気付かされたことも多く、又とても楽しく受講致しました。ありがとうございました。
- ・最高におもしろく、ためになるお話ばかりでした。

- ・自分の孫が5人いますが、先生の講座を家族に伝達教養し、交通安全に気をつけるよう指導したい。「交通安全は家族から職場から」が私のモットーです。
- ・国際交通安全学会など、もっと他の国が交通安全についてどの様に取り組んでいるかを知りたいです。
- ・ビデオの内容等非常に参考になりました。子供は交通安全教室の時と普段の行動が違うということ、改めて気づかされました。交通安全教室の内容等考えないといけなかつたと思いました。
- ・子供の心理を的確にとらえておられた。話しを堅苦しくない、口調が大変参考になった。
- ・先日、入間の方へ来ていただき、お話を聞く機会がありましたが、何度聞いてもためになるお話でした。質問ではありませんが、先生のファンです。ありがとうございました。
- ・面白く聞きやすかつた。自分たちでやってみたいと思うことが多かつた。
- ・もう一度講義を聞いてみたいと思います。資料を読み返して観ます。
- ・子供への安全教育は親が基本ですね。私達は手助けですね。
- ・子どもの歩行中の事故(7才が多い)の原因と心理、また、子どもの発達能力、発達心理学の視点など勉強になりました。これからもっともっと子ども(小1年~2年生)の目線で見守りをして行きたいと思いました。
- ・やっぱり交通教育は子供達からですね困るのはその大人達です。一緒に教育することも
- ・子供達は研修に来るが、親と一緒に来ることはなく、幼児たちには「家に帰ったらみんなが先生になってお家の人へ伝えてね。」と言うようにしているが、保護者への交通安全教育も大切と学びました。
- ・「危険から遠ざけるだけの教育ではいけない」これからは意識していきたい。
- ・いつか生駒に講話に来て下さい。
- ・物事の見方と違う角度から今一度考えて見てみる。
- ・NHKで先生の出られていた番組を拝見していた為、お話を聞くことが出来て勉強になりました。実際の子どもの特性心理を踏まえた上でよりよい指導を目指します。
- ・子供というのはとても大人では考えられないような思考をしていると考えていたので、今回の講座を子供の特性、効果的(主体的)に学んでもらう上で大切なポイントがあつたと感じました。日本においても諸外国のように小さい年齢で交通安全が定着して欲しいと感じました。
- ・参考になりました。(自身の仕事内容実態から)
- ・すばらしいもっと広めよ。
- ・昨年の夏に内部研修で先生の話の伺い、声のかけ方を少し変えたら自発的に左右の確認をするようになったということをお先生にお伝えしたいです。

## 池田 佳代先生へ

### (講座名:いきいき運転講座)

- ・実物が既に市に提供されておりましたので内容は事前に把握していましたが、実際にやったことがなかつたため良かつたです。
- ・参加者が講師とディスカッションする手法は実行性が上がり盛り上がるのが参考となつた。
- ・正に今、必要としていた情報を得ることができて、大変勉強になつた。
- ・すぐモチベーションの上がる講座でした。
- ・講座名通り、生き生きと活発に交通安全教室だと思いました。知識はある方、交通安全の意識が高い方ばかりなので、ディスカッションすることは、いいと思いました。
- ・ワークシートで1人1人がそれぞれ考えていることが判りました。私も皆さんの意見を参考にします。今回の講習に参加できたことは、大変良かつたです。
- ・DVDで分かりやすく、周りの方と意見を言い合うことで、別の角度からの考えが分かり、勉強になりました。考えたことを言葉にすることで忘れないということ、身近な方の話は親近感がわき、印象に残るということを知りました。
- ・動画教材や脳トレを取り入れての参加型の講座で、楽しんで学べた。発言をしたり問題を読み上げたりの場面もあり、少々の緊張感も新鮮でした。高齢者教室でどんどん問いかけて、みんなで取り組んで学べるようにしようと思いました。
- ・ワークシートあり、ゲームありで話のよきようがあり、おもしろかつた。特にビデオを観てのワークシートは、普段の自分の運転に対して反省する所があつた。(一時停止違反)
- ・参加型の教室は良いと思いました。眠くなりませんでした。楽しく参加できると思います。
- ・高齢者だけの活用で終わらせるのはもったいないので、幼児等にも活用させていただきます。
- ・高齢者担当ではありませんが、周囲に高齢者が多いため、大変参考になりました。学んだこと、伝えていきたいと思ひます。
- ・熊本市西区春日小学校区で、交通指導員(58歳、男性)をしています。校区にはまさに「いきいきサロン」という高齢者の交流会が、月に1回あります。その場で生かせる話、ありがとうございました。
- ・一度目の質問に対する答と2度目の同じ質問に対する答が違ってくる心理的な講義が良かつた。
- ・自分たちで気づいてもらう方が簡単だし、誰も傷付けないなと思つた。
- ・講座の進行方法が良く分かりました。脳トレの本があればありがたいのですが。
- ・事前に決められていない班番号はとまどいました。
- ・4人ずつのディスカッションは4人とも多少意見の食い違いもあるが、グループごとに発表の時も多少考えの違いが見えてきて良かつたと思いました。

- ・交通ルールがあれほど守れていないかったのにびっくりです。
- ・とても楽しく取り組めた。自分は大丈夫と思っている方が多く、耳を傾けてもらえない人もいる。同じ対象者同士で話し、身近なことを伝え合うことは、それぞれの心に響きやすいと感じました。
- ・話し合うことにより周りの方との交流も進み楽しい時間を過ごすことができた。
- ・ディスカッション手法、「人のふりみて我がふり直す」手法は幼稚園保育園の指導をしている為今後活かしていきたいと思った。
- ・やはり交通安全講座だと、どの年齢層であったとしても集中力がなくなってしまい、眠ってしまう人もいる中で、主体的に講座を受講してもらえるものだと感じました。今後の講座の参考としてより多くの人が主体的に講座を受講できるようにしていきたいと感じました。
- ・参考になりました。(自身の仕事内容実態から)
- ・座をするにも労力と算がかかること。
- ・とても聞き取りやすかったです。ただ1班・2班～29班と特別に事前にグループ分けがなかったので、事前にスタッフに申し出て欲しかったです。又テーブル上に1～29の立て札が必要だったのではないかと思います。

## 石井 征之先生へ

### (講座名:自転車の交通安全教育について)

- ・実に分かりやすくテンポが良くしっかり受講できました。高校生のご両親が植樹をしたいと申し出られた話には心を打たれ、涙がでました。
- ・パワーポイントの量が多かったが、ポイント表示があり、要領良く講習の内容を理解できた。自転車運転教育はプレドライバーの教育の場である。
- ・小学生・中学生・高校生・高齢者・子育て世代の親への指導に活用したい。
- ・自分が行っている教室の大切さや意味を改めて感じる事ができた。最後のお話にあったような思いを誰もしないように伝え続けていきたい。
- ・最後のお話し、とても感動致しました。「危ない」だけでなく「命を守る」という点を重視して日々の業務に当たりたいと思いました。
- ・命の大切さ、一瞬にして命を失うこわさを、実体験の話聞いて、身にしみました。
- ・とても分かりやすく、自転車の事故防止について理解できました。1つしかない命を守る為、安全教育の5つの方法原理は生きていく上で、全てにつながると感じました。家庭における生活リズム、基本的生活習慣の確立が大事だと思いました。
- ・私のやっている仕事は間違っていないことを新たに感じとれました。今後もしっかりと続けて行きます。先生の話をして行きます。
- ・交通安全を指導することは本当に重要で、人生に関わる大切なことなんだと改めて感じさせていただきました。日々意識をし、悲しい交通事故が減っていくように勉強を続けたいと思いました。
- ・実際にあった事故例などを取り入れ、話をして下さり大変分かりやすく、心に刺さるお話でした。
- ・自転車の指導で、あいまいな部分がありましたが、石井先生の細かな説明で、しっかりと学べ、指導に自信が持てそうです。
- ・これからは、自転車保険も必要と考えました。
- ・自転車のルールが再確認できました。
- ・自分の子供にも聞かせたいお話でした。
- ・「自転車を運転する」、「自転車は車輛の仲間である」をこれからの教育の基本として指導していきたいと思います。
- ・大変心に染みる講義でした。知っているようで知らなかったこと、法律を含めた知識。自分の交通指導員としておかれている立場の重要性、責任、伝えることの大切さ、再認識させていただきました。先生のお話を心に留め、今後の活動に励みたいと思います。ありがとうございました。
- ・命を守る授業、命を守る活動へのエール、ありがとうございました。
- ・本日の先生のお話しがとても分かりやすく、また命の大切さについて改めて思い知った講座でした。今後私がさせて頂いております自転車指導員と家庭で、子供達に責任を持って話しを続けて行こうと思いました。ありがとうございました。
- ・使命感を改めて感じる講義でした。ありがとうございました。
- ・教師の目線でのお話や実体験、無知な部分が多かったので、とても勉強になりました。話し方が優しく穏やかで心に響きました。
- ・直前に、自転車の交通安全指導者教育指導者講習を受講し、認定証をもらいましたが、内容が全く違います。大変な事だとは理解していますが、もっと時間をかけてお金をかけて実のある物に育て上げる指導・講習・交通安全教室等の場の企画を工夫して欲しい。
- ・命を守る仕事、改めてがんばりたいと思います。ステキなはなし、ありがとうございました。
- ・「自転車に乗る」ではなく「自転車を運転する」ということを強く伝えていこうと思った。
- ・ポイントが理解しやすく具体的ですぐに講話に活用できそうで良かった。最後にダメ押し自分達の活動を新たに考える事ができました。
- ・区で行っている交通安全教室で私達が話している事が間違っていない事プラスして話していきたい事があり大変参考になりました。
- ・最後言われました命の尊さ、身にしみて見守り活動をして行きたいと思いました。
- ・まず有難うございました。実体験に基づいた話、法的な事、全て身にしみました。「命を大切に」一言。日常、学童通学路(交差点)での誘導を行っている身、声掛けを良くして安全に登校させています。

・小学校へ講習に行くと、乗れない子も多く、自転車をかんたんに考えている子も多い。乗れるようになった子には事故のこわさを教えていくことが大切と感じた、高校生の生徒が車の免許をとる時に自転車がこわい！と言ってました。立場が変わった時にしかその危険さに気づけないんだと改めて思う言葉でした。小学校などへの講話の時に話す内容をもう一度考え直したいと考えさせられました。ありがとうございます。

- ・「いつもの帰り道、無事帰るのが当たり前」なにげない言葉の中にとっても大事で奥の深いものがある。「無事かえる」と書いたかわいいカエルのリフレクターを配布している。
- ・衝撃的な話題から自転車についての考えが変わるぐらいのすばらしい講座であった。
- ・教育現場での実際に経験された生徒の話がとても心に響き、明日から交通安全指導に力を入れられそうです。ありがとうございました。
- ・最後に亡くなった生徒(女性)の話を聞いて命の尊さを実感しました。
- ・石井先生のお話を聞き、いかに交通安全教育が大切か改めて思い、この仕事をやり続けたいと思いました。
- ・私達のやっていることは非常に大切なことだと認識して活用しようと思った
- ・自転車の交通安全教育について改めて考えさせられる講座だった。今後悲しい事故が起きないように心に刻んでいきたいと感じた。
- ・幼児教育は家で母がOK

### 13 今後、講座で取り上げてほしいテーマ等がありましたら、ご自由にご記入ください。

- ・事例発表であったドライバー等とのトラブル対応について、専門家からの講義を聴きたかった。
- ・若者(20~30代)に対する交通安全教育。あおり運転をしない、させない為の心理教育とか。
- ・幼児、児童への交通安全教育で保護者の方にもっと関心を持っていただきたいと思っています。保護者の方への啓発、教育などについて取り扱っていただきたいです。
- ・実際に現場で活動する交通指導員が対象となっているが、若干の時間でも良いので、交通指導員を管理・運用する立場の者に対する内容を入れてはどうかと思う。
- ・交通の現場における、安全で基本的な交通指導方法などの実演・実習(交通環境等に応じて様々ではあるが、全国統一的方法などがあれば、それを元に自県でも周知徹底を図ることができるため)
- ・高齢者運転者に免許証を返納をうながすのではなく、その人達を救う為の方策についてを取り上げて欲しい。
- ・自転車の駐輪、迷惑駐車について。
- ・子どもと高齢者以外の中間層(保護者など)の人に対してのテーマ。
- ・各都道府県市町で行っている効果的な交通安全施策について
- ・グループ討議をもう1種類増やして欲しい。
- ・自転車の乗り方で小学校中学年~中学高校生に実技指導の講座を実施してほしいです。
- ・教室内容をプリントにまとめて用意するのはどうか。
- ・教材の作り方をもう少し入れて欲しかったです。
- ・歩行者の交通安全のテーマが少なく感じました。
- ・今後もこのような内容で良いと思います。
- ・他の団体や県ではどんな教材を使用し、交通教室をやっているのか模擬や実演を見せてほしい。近年は、自転車実施が厳しい学校が多いため、様々な教育法を学びたい。
- ・実際に他県ではどのような取り組みをしているのかテーマ毎(高齢者・幼児etc)に発表してもらえると分かりやすい。
- ・教材を実践させる体験がしたい。
- ・交差点や横断歩道で実際に交通指導(歩行者保護)に立つ際の留意点及び法的な制限等(2号警備の資格が無い中でどこまで車両に対して指導(規制?)できるのか等
- ・テーマの増加変更を求めてませんが、警視庁交通総務課の方々による牛乳パック等を使用した簡易教材などを作成できる時間が欲しいです。その為作成に必要な牛乳パックなどは事前に持参物として欲しいと思います。
- ・発達障害をかかえる人への交通教室のあり方。
- ・信号機が使えない時など、災害時の対応の方法... 大雨、台風の時など
- ・手遊び(幼児の交通教室等)
- ・教材作成(からくり等)
- ・保護者のための交通安全教室や中学生や高校生への交通安全の効果的な指導の仕方などをテーマにしたもの。
- ・保護者や地域・一般の方への交通
- ・講義、教室などで使えるグッズ、小物の作成、紹介など。
- ・テーマよりも受講者同士が交流できる時間がもう少しあれば、良かったかなと思いました。
- ・後期高齢者(75才以上)における歩行、自転車、横断歩道の歩き方などの講座をお願い致します。
- ・社内報、地域の○○ペーパーなどに寄稿することが多いと思います。毎年同じ時期に同じことを書かなくていいように、みなさんに読んでもらえるような文章を書く講習がほしいです。
- ・幼児教室の内容について。詳細をお聞きしたいと思いました。(どのようなテーマで実際に行っている様子など)作成した教材も見せてもらいたいと思いました。
- ・今の仕事(ボランティア:交通指導員)としての講習があればいいですね、よろしく願います
- ・やはり児童だけでなく、保護者に伝える、保護者の心にひびく話し方が学びたいです。
- ・交通法令順守するにはどうしたらできるか?を道路整備するには?運転のみ集中するには?

- ・保護者に向けてのセミナーのすすめ方。
- ・交通指導員の立ち振る舞いの指導。例)横断歩道で子どもたちを誘導させる時の車を止めるタイミング止め方など様々なシチュエーションでのお手本が見たい。
- ・みなさんが工夫してつくっている作品の発表かんたんな作り方のプリントなど教えてもらえるとたすかる
- ・教材の作り方、パネルなど。
- ・全国で行われている子供自転車競技大会に向けての指導要領を教えてください。
- ・教材の展示、発表が出来ないか？制服の展示、活動事例(発表をDVDなどで)
- ・加齢による機能の低下などを具体的に教えて欲しい。(そこから高齢者の気付きへつなげたり、説得力のある教室を作って行けると思うので)
- ・大手企業が行っている交通安全教育デモンストレーション
- ・幼児の自転車の交通安全教室の導入について、スウェーデンなどの他国の交通安全の取組みも普段情報がないので、知りたいです。いいことはマネをしたいです。(少し山口先生で話しは聞けましたが...)
- ・交通安全活動に取り組む各種団体が各々独自の活動を行っているが、目的は一つのはずなのにバラバラで活動している。それに利点は有ると思うものの情報交換が出来ていない。活動をするからには成果が欲しい。
- ・指導員としての役割、実態を把握した内での研修を行ってもらいたい。指導員としての現状を他の地域での活動での問題点等を知る事により自信、委員会への向上を目指したい。指導員の役割、毎回研修が参加者の向上につながると思います。
- ・腹話術等はプロの先生に講師をしてほしい。簡単な手遊びやゲーム等、導入に使える内容を紹介してほしい。
- ・各団体の講習会を見てみたい参考にした
- ・パペット人形を使用して指導している為パペット人形やふくわ術、パネルシアターの講座があるとうれしいです。
- ・高齢者向けの脳のトレーニングにどんなものがあるか、具体的に2日目のデモンストレーションのように見てみたいです。
- ・二輪運転者に対する啓発等
- ・大多数の方が幼稚園、保育園、学校に行って指導員として活動されている方ですが、実際に登下校の時に横断歩道に立って活動されている方もいるので、その人達のために実際に現場で活動する上に参考になる授業も取り入れたらと思う。
- ・新しい条例や交通ルールのポイントや説明。
- ・内閣府としての取組を、政策統括官付参事官に交通安全の重要性や今後の方向性について講義の時間が必要と思います。

#### 14 講座の実施にあたり、運営やスタッフの対応等にご意見がございましたらご記入ください。

- ・提出物等説明をもう少し丁寧に頂きたかった。
- ・スタッフさん同士の情報共有があるとありがたい。大変お世話になりありがとうございました。
- ・以前講座を受講した人から聞いていたより、今回は宿泊等スムーズに決定していただき、とても良かったのですが、当日、空港、JR等今回少しずつではありますが、遅延があり移動に余裕が全く無いのが、みなさん遠くから来てはいるので大変だと思いますが、土地鑑もないので帰りもギリギリはこわいです。予定表では12:30到着予定で空港で10分、JRが15分の遅延のため乗換などでギリギリでした。
- ・運営スタッフの上から目線で当然調の話し方が気に入らなく萎縮した
- ・お世話になりありがとうございました。色々とお配慮いただきありがとうございました。おかげ様で充実した3日間を過ごす事が出来ました。感謝、感謝です。
- ・お茶や水が用意されていてありがたかった。
- ・熊本からですが、移動行程に余裕が欲しかった。ジョルダンでの行程は解かり易かったが、実際の乗り替えは難儀だった。初日は昼食の時間も無く、二日目は1.5時間余裕をもってホテルを出たが、朝食をとる時間が無かった。自分で手配してでも前泊の方が良かったのかも知れない。講習期間中の昼食時間をズラしても...
- ・グループ討議の際に、特に何もなく「始めて下さい」という感じだったので、グループの中でどうしたら良いのか？という雰囲気だったので、何か(説明)あっても良かったのでは？と思いました。
- ・グループ討議の時、なんの指示もなくさあどうぞという感じだったので、上手く話がまとまらず残念でした。運営側が最初の司会者のみ指定してくれるともう少し話もまとまりやすかったのではと思います。
- ・航空券や宿泊等、事務局が手配しているものについては改めて領収書を提出する必要はないと思う。
- ・講座終了後、2~3分でもいいので、質疑応答の時間があっても良いと思った。
- ・講師の先生方、講座の事務局スタッフの方々のおかげで中身の濃い時間を有意義に過ごさせていただきました。有り難うございました。
- ・事務局となっている(株)マルトの役割が不明瞭。全国各地から100名を超える参加者がおり、シルバー世代の方もたくさんいらっしゃいました。もう少し流動的な受付を行い、混雑の緩和をするよう希望します。
- ・宿泊証明書の件ですが、封筒の中に、忘れず持参する内容の手紙が入っているとわかりやすく良いと思いました。
- ・受講時間が短く、内容が豊富なのでありますから、会場に複数のスタッフ及びマイクの準備が必要でないのか。
- ・スタッフの鈴木様には事例発表などで大変ご協力、お世話を頂きましてありがとうございました。
- ・スムーズな進行と対応をしてくださり、充実した研修になりました。
- ・スライドを使っている時に照明の調整、マイクのハウリングなどあった時に対応してくれる人としてくれない人がいました。せっかく会場内にいてくれているのに残念。

- ・前泊にさせていただいて大変助かりました。懇親会など、参加者の方々とゆっくりお話できる時間があつたら良いなあと思いました。大変勉強になりました。また参加したいです。ありがとうございました。
- ・大変お世話になりました。2日目水が切れました。補給お願いします。手抜きなしやってみました。
- ・大変良くやっていると思う。アパホテル九段下に宿泊したが、チェックインかアウトの時に宿泊証明書を手配したい。忘れてしまい、とりに行った。(二重手間)
- ・誰のための研修を行うのか？公務員規約内での行程等を決めるのではなく参加する指導員の状況把握を十分にし対応をお願いしたい。上から目線ではない様な態度で接してほしい。地方から参加する者は電車の乗り継ぎには苦勞します。時間に余裕が欲しい。
- ・とてもきばきと運営していただき感謝します
- ・飲み物の用意まであり、御心配りありがとうございました。
- ・配布資料で大きなものがあるなら事前にアナウンスいただき良かった。
- ・配布資料の確認、配布されたものの説明等、オリエンテーションでもっとしっかり丁寧に説明していただきたいと思えます。帰る直前にいろいろ説明されてもバタバタしている中ではしっかり聞けないので、そのあたり改善していただくと助かります。
- ・飛行機や都会の電車に慣れている方は、組んでいただいた時間で行けると思うが、そうでない人の事も考えて余裕をもって移動できる時間で組んでもらいたい。途中でお手洗に行く余裕もない。
- ・不備があつた際の声かけの言葉が少しきついように感じました。
- ・3日間、丁寧な対応ありがとうございました。宿泊施設や旅程などを準備していただいて、とても助かりました。
- ・みなさんとても優しく、丁寧に案内してもらえたのでよかったです。
- ・冷暖房の設定は上手くできなかった。上着掛ハンガーが少ない(足りない)
- ・判り易い事前連絡資料をご送付くださったり、丁寧な対応をしてくださいます。ありがとうございました。全ての講義が興味深く真剣に聞きました。
- ・私にとって70才と云う事もあるうがと思いますが、講習のスピードについていけない。もう少しスローな口調で説明していただかないと脳内でそしゃくしないうちに進んで行く感じがした。
- ・私は今日1年目です。任期は4年と決まっています。今回の講義結果は活用できるかが心配です。私のような任期が決まっている人を対象とせず、今後十分に活用できる人を対象とするのが良いと考えています。また牛乳パックやのりやテープなど持参して簡易教材を作成したかったです。

## 15 その他、講座全般にかかわるご意見・ご感想・ご要望等ございましたらご記入ください。

- ・お茶、冷水のデリバリーは、会場となった建物に自販機が無かつたことから大変ありがたかつた。
- ・グループ討議の出来ばえは、ひとえに発表者の能力によるところが大であると思ひました。
- ・各先生方の講座は具体的で分かりやすく、明日からすぐ実践できることばかりでした。たくさんの方例もご紹介してくださりよく理解できました。
- ・スタッフの皆様、3日間の講座の事前準備等大変だつたことと思ひます。皆さまのおかげで有意義な「交通安全指導者養成講座」でした。本当にお世話になりました。お疲れ様でした。
- ・講座はどれも勉強になりました。この経験を今後の交通指導員の活動にいかしていきたい。特にグループ討議では、他県の取組みや意見が聞けて参考になつた。
- ・高齢ドライバーによる痛ましい事故が多発している昨今、自分も70才を超えて「高齢者運転」「免許返納」などのキーワードが気になる年代であります。高齢者に対する交通安全教室、効果的な指導法など今後も勉強していきたい。
- ・交通安全に関わり、各県、地域の取組みが共通していること、違つていることがよくわかつた。参考になりました。参加させていただきありがとうございました。特にグループ討議がよかつた。各々の立場で基本的に大切なことを学び参考になりました。
- ・交流会等ができないか？(有料でもOK)
- ・各都道府県から市職員やボランティアの立場の方もいらつちやつていて、それぞれの立場ごとにグループ交流会があつてもいいのでは。
- ・パワーポイント資料の資料が字が小さいので、もう少し大きくしてもらえたらありがたいです。
- ・指導員としての目的、任務、心得、役割を明確に決め指導毎の役割毎の研修を行つてもらいたい。(役割の違つたグループ検討はその役割人数により発表するため好感が薄い。
- ・内閣府(主権者)のあいさつ文をペーパーで配布して欲しいです。(国の考えや思い、方向性が解るため)
- ・会場内にスマホの充電スペースを確保してあれば助かります。(コンセントなどの多数設置)
- ・せつかく全国から研修に来ているので、他県の取組み等について意見交換してみたかつた。交通安全教育について困つた時に他県(近県)の方と相談する事もあると思うので、食事会等で顔つなぎができれば良いと思ひました。事務局が大変でしょうが、できればお願いします。私は九州なので九州だけでもと思ひました。
- ・研修終了後の飛行機について最終便ではだめでしょうか？できれば皇居等に立ち寄りたいと思ひました。
- ・色々、とりまとめありがとうございました。色々な方々と話ができて、とても勉強になりました。
- ・多くの方の意見、思いを聴けて参考になりました。自分のグループだけではなく、他のグループのフリートキングを聴きたいですね、地方の都市は高齢者に関して切実さを感じ基本もたくさん実行していることがわかりました
- ・多くの指導員、指導者の方に受講してもらえたら、更に交通事故防止につながるものと思ひました。
- ・思つてたより楽しく参加できました。

- ・会場で提供してくださった水・お茶ですが、紙コップで良いと思います。マイクの音われが気になりました。
  - ・街頭指導従事者と安全教室従事者の概ね2つグループで構成されている講習会になり、温度差が見受けられた。分別化できないか。
  - ・各地区の具体的な指導方法等も聞きたかった。自分達は教室での指導のみ行っていますが、街頭で指導をされている方も多く、そのあたりをわけた上でのグループ討議にして欲しかった。(内容が幅広すぎて、まとまらなかった)
  - ・各都道府県、政令市の枠がある中で、採用され講義を受講出来た事はとても良かった。内容が全般的にどちらかと言えば行政担当者向けかなとも思いましたが、それでも今後の交通指導員活動に生かせると感じました。
  - ・休憩時間がきちんと設けられていて良かったと思います。どの講義もとても良かったと思いました。参加させていただきありがとうございました。
  - ・教材紹介等の時間を設けていただけると助かります。やはり口頭での説明ではイメージしにくいと思うので、持ってこれる県があったら持ってきていただいた方がいいと思います。(写真等でも)
  - ・グループ討議が大切ですが、ばらばらな意見が多く、まとまりにくく、自分だけの意見(自分の地域では~)だけが目立った。会場では、白板を用意してもらい、それぞれの手元には付せん紙を用意して、ハザードマップ作成時と同様に付せん紙に意見を書いて出してもらい、白板に書いて、要点をしぼる方法の段取りを考えてほしい。
  - ・グループ討議に KJ法が使える様に模造紙1枚、A6カード20枚/人準備して欲しい。 ホワイトボードも欲しい。強力な講師陣を揃えて頂き、大変有意義な研修でした。
  - ・グループ討議の時のグループの分け方について、申込みの時に書いた討議したい内容をもう少し参考にして分けていただきたい。実際に指導している方と誘導の方では話し合いたい内容も違うだろうし、テーマが絞りにくい。ある程度テーマがある所からでない話し合ってもまとめるのはとても大変で、役割をふられた方の負担になってしまう。
- また、発表はその日のうちに行う方が良いと思う。せっかく全国から集まっているので、他の方が実際どのような教材を使っているのかどの様に内容を組立しているのか、情報交換をする機会や時間をつくっていただけたらもっと実践で活かせると思う。
- ・グループ討議の場でまとめた資料の写しを全員に配布して欲しい。
  - ・経験が浅い時期の研修だったので、現場では学べない事など大変貴重な学習と経験をすることができて、とても充実した3日間になりました。事例発表は、もう少し長くした方がせっかく話し合ったのもったいないと感じました。
  - ・現代社会において裁判となる「著作権」者との訴訟事案が多く、裁判所で取扱われています。例として「○○○○さん」の替え歌訴訟です。かってに歌を替えて歌ったり、インターネット、CD、SNSにより「損害賠償請求」されています。同一性保持権の侵害にならないよう注意すべきだと思います。私の「所」では外国人やインターナショナルサーー保育園などが増えています。外国語テキストがありましたら国として交付して下さい。
  - ・講義時間が長いものはもう少し短縮した方がよいと思った。集中力がなくなる。事例発表を増やしてほしい。
  - ・講座の個々の内容がとても興味深く、学ぶ点がたくさんありました。
  - ・講座の幅が広く、多様な話を聞くことができ、色々な勉強をすることができたと感じています。職業柄、現行での所属では難しいことも、異動を重ねることで、思い出すようなことがあるような気がします。
  - ・講座を行うフロアの女子トイレの数が少ない、それで休憩10分は短い。
  - ・講師の方の時間の使い方が上手だった。持ち時間一杯有効に使われていた。
  - ・この講座に参加出来て、外の県の方と話しが出来て、有意義な時間でした。今後の講習にぜひ役立てたいと思います。
  - ・このような会に参加するのは初めてでしたが、多くの県から来ている皆さんと話し、どのように気をつけているのかを知ることができました。またプロの方々に講話をしていただき、今まで行っていた講習をより良くできそうだと感じました。
  - ・このような機会をいただき、ありがとうございました。大変勉強になりました。今後参考にさせていただきます。
  - ・今回の講座では様々な分野の専門家の方のお話を聞くことができ、とても充実した3日間でした。周りのみなさんが普段行っていることも直接聞くことができ、とても刺激を受けました。このような機会を作って下さり、ありがとうございました。今の仕事の大切さ、重要さを再確認できました。
  - ・今後、自分の地域で高齢者向けに講演会などを行いたいのですが、その適した講師の方の紹介などをしていただけるとありがたいです。(例:高齢者にひびく内容、高齢者の運転する車によって、自分の家族がうばわれてしまったなどの遺族の方など)
  - ・今後の自己の啓発に役立てさせていただきます。命の大切さを皆に頑張ります。おかげ様でモチベーションUPで帰れます。ありがとうございました。
  - ・参加者全員が会場と同じホテルに宿泊できたら良いと思います。電車移動時間がなければ少し楽かなと思いました。
  - ・参加者の所属毎にグループ討議があって、全体グループ討議があって欲しかった。同業の日常活動の問題について、結論は出ないまでも、情報交換を行なう事で、今後につなげる事は出来るのではなかろうか思料致します。交通指導員 = 自治体により、色々な指導員が居るのだなと再認識致しました。
  - ・所属名が違っていました。
  - ・初日の開講式で近藤参事官の話の中で24時間以内の死者3500人? どのいつの24時間の事か理解できないので以後の講座も頭の中真っ白になっていた。
  - ・全ての講座が興味深く、熱心に聞かせていただきました。
  - ・全て学べた事に感謝しています。ありがとうございました。良い体験になりました。
  - ・全国の方とお話しできた。話をきくことができた。こういう機会はあまりないので、良かったです。

- ・先生方はマイクを使用していますが、聞き取りやすい先生や聞き取りにくい先生など統一されていなかったと思います。出来れば均一に聞き取れるように配慮して頂きたいです。
- ・全体的に時間通りのスムーズな運営でとても良かったと思います。どの講座もすぐ現場で生かせる内容ばかりで、今後もこの講習会が続くことで、みなさんの情報の交換の場、学びの場となり、交通事故が1つでも少なくなればと思います。3日間細やかな気遣い、ご配慮ありがとうございました。
- ・大変参考になる講義が多かったです。今後生かしていけるかは自分次第ですが、いつかどこかで必ず役立てていきたいです。貴重な講習会でした。ありがとうございました。
- ・大変勉強になりました。明日すぐに使用することができる講座をこれからも続けて頂きたいです。
- ・交通費などの講座に直接かかわらないような説明を事前にもう少しわかりやすく説明して頂きたい。
- ・講座で使った動画なども配ってもらえると嬉しい。
- ・大変勉強になることばかりでした。ありがとうございました。
- ・たくさんの教材発表が見たいです。すぐに使える教材を教えてください。
- ・他県の方の交通安全教室の取り組みなどのお話が聞けて、皆さんの思いが同じ方向に向って実践されていると感じ、とても励みになりました。
- ・地域的に差がある為、事前に調査し、同じ悩みを持つ者同志での検討が出来るカリキュラムをもうけて欲しい。
- ・地域の旗ふりはおじさん(自分もですが)ばかりですが、今回の研修は女性の比率が高く、年齢層も幅広く感じました。3日間の内容は盛りだくさんで、とてもためになり、今後にも生かせるものばかりでした。
- ・昼食時の対応 最後の各グループの発表の時、スライド等の活用をすべき(質疑応答時に何を質問すれば良いかわかりにくい)事前に各グループの発表内容をコピーを受講者全員に渡す。
- ・ディスカッションの中で、役所の方々と自分達現場に立っておられる方々との多少の考えの違い又、都市部の方々と地方の方々との交通ルールの差も出て来てお互いに勉強になったと思われます。今後も大変ではあると思いますがこういう講座を設けてほしいと思います。
- ・トイレが少なく、後半になり他の階にもトイレがあって使うようにしましたが、6階には2つ、しかも1つは和式となり、他の階への案内もないため混雑し、休みの時間内に戻れずあせりました。他は全てスムーズでした。
- ・とても有意義な講座でした。ありがとうございました。二日目のグループ討議については、もう少し説明があってもよかったのかなと思います。
- ・とても良い勉強になりました。交通の手続きから何から準備していただき、ありがとうございました。静岡に今回学んだことを広めていきたいです。たくさんの資料をきれいにコピーしていただきありがとうございました。
- ・内容的に盛りだくさんでよかった。
- ・発表で、時間を守らない人がいて残念です。せっかく講話で教えてもらったいろいろが、いかされてないのが悲しいです。
- ・マイク機材の接触の関係か講師の先生が話している途中で「ビー」といった音が鳴ったのが気になりました。
- ・もっとディスカッションを増やしていろいろな人の話を聞きたかった。
- ・幼児、児童に対する交通安全教室で分かりやすく伝える為、工夫されている教材などを紹介する場があれば、いいと思います。自治体で使っている寸劇や替え歌、ペープサート(紙人形劇)など参考にしたいです。
- ・旅費の金額は決まっているのだから自分で航空券や宿泊施設を手配したい。どちらにしても領収書を提出するのであれば、自分で手配してもいいと思う。